

## 令和4年度 本部事業計画書

社会福祉法人 ささゆり会

令和4年度は、10月に新たに介護職員等ベースアップ等支援加算が加わります。処遇改善の加算としては3つ目の加算になります。「介護職員等ベースアップ等支援加算」は、令和4年2月からの賃上げのために事業所へ交付される新たな補助金のルールを踏襲したものです。既存の処遇改善加算の(III)以上を算定していること、加算額の3分の2以上をベースアップに振り向けること、などが要件として定められています。4月に道路交通法の改正があります。白ナンバーの車5台以上保有している事業所は安全運転管理者を選任し、運転前後にアルコールチェックが義務化されます。デイサービスの事業所が対象となるためアルコール検知、乗車前後のアルコールチェックを記録管理していきます。

今年度、職員の新しい社宅の土地所得として4000万円を予定しています。また、姫路グループでは株式会社OJTソリューションズと契約し業務改善の研修を行います。また日本経営と契約し、営業の研修を行います。

本年度はベトナムからのEPA(経済連携協定)の受け入れ申込を中止予定です。コロナ禍の影響で遅れていたインドネシアから技能実習生が来日予定です。インドネシアからの技能実習生は、サンライフ御立で4名、サンライフ土山で3名、サンライフ西庄で3名、サンライフひろみねで1名、サンライフ魚崎1名、介護型ケアハウスサンライフ魚崎で2名の合計14名が就労予定です。また、ミャンマーから特定技能生として、サンライフ御立が4名、サンライフ土山が2名、サンライフひろみねが1名、サンライフ西庄が6名の合計13名が就労予定になっています。海外から来ている為、生活や仕事に不安を抱えてしまう可能性がありますので、メンタルケアや生活支援をしていきます。そして、介護福祉士の資格取得の為、日本語や介護福祉士の学習支援をしていきます。

昨年度は事業所でクラスターの発生が起きました。職員の体調管理を行い、体調が少しでも優れない場合は休んでもらうこととし、感染者接触疑いのある職員にはPCR検査や抗原検査を行いクラスター発生が起きないように新型コロナウイルスの感染予防対策を行なっていきます。介護職員には手洗いマスクを徹底してもらっています。また、手袋、マスク、アルコール、ガウン等、感染対策用品を切らすことなく確保していきます。

### 運営スローガン：

『足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す』

## 1. 本年度の重点課題

- I. 施設運営の改革に不可欠な諸事業の充実
  - ・外国人技能実習生受け入れ
- II. 主体的経営の基盤強化に不可欠なシステム及び仕組みの構築
  - ・業務の無駄を可視化し業務改善
- III. 施設の運営や活動に不可欠な人材育成と確保
  - ・新卒者、中途者採用促進の為、専門担当者の配置推進
  - ・技能実習生、特定技能生の採用と育成

## 2. 定例会議

### ア. 理事会

当法人の業務執行機関として、事業報告・決算の承認・事業計画・予算の承認その他重要事項決定のため、以下の執行を行う。

会議名	内容	時期
第 1 回 理事会	1. 事業報告・決算報告の承認 2. 事業計画に基づく諸事業の実施状況と課題 3. その他諸規定の検討	2022 年 6 月
第 2 回 理事会	1. 経営戦略について 2. 各事業所の経営内容について	2022 年 8 月
第 3 回 理事会	1. 経営戦略について 2. 各事業所のサービス内容について	2022 年 10 月
第 4 回 理事会	1. 上半期事業推進報告と課題の検討 2. その他諸規定の検討	2022 年 12 月
第 5 回 理事会	1. 経営戦略について 2. 各事業所の人材確保について	2023 年 2 月
第 6 回 理事会	1. 事業計画書 2. 法人組織・諸規定の検討、その他	2023 年 3 月

## イ. 監事会

事業の執行状況及び決算についての報告と、理事会に意見を述べるため以下の会議を行う。

会議名	内容	
監査報告	1. 会計監査人会計監査報告	2022年6月
第1回監事会	1. 前期事業報告・決算の監査 2. 事業計画に基づく諸事業の実施課題について 3. その他運営上の課題について	2022年6月
第2回監事会	1. 上半期事業推進状況の監査 2. 事業計画に基づく諸事業の実施状況と課題 3. その他施設運営上の課題について	2022年12月

## ウ. 評議員会

当法人の役員の選任と、法人運営の基本ルール・体制の決定と事後的な監督を行う機関として位置づけ、必置の議決機関として以下の会議を行う。

会議名	内容	時期
定時評議員会	1. 充実残高計画の承認 2. 2021年度計算書類の承認 3. 定款施行細則の承認	2022年6月
臨時評議員会	1. 事業計画・予算案の承認 2. 法人組織・諸規程の承認、その他	2023年3月

## 2. 介護保険サービス推進委員会

利用者様の立場に立った介護と生活の質の向上を目指し、以下の会議を行う。

会議名	内容	時期
第1回推進委員会	1. 上半期諸事業の取組み結果と課題について	2022年12月
第2回推進委員会	1. 2023年度事業計画御立・魚崎事業所の摺り合わせ 2. 活力ある職場創り推進状況について	2023年3月

# 特別養護老人ホームサンライフ御立

## 令和4年度 事業計画書

今年度経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」を基に介護の原点に立ち返り ADL の維持・向上を念頭におき、医務、リハビリ職員、歯科衛生士と連携を図り、脳トレや体操などレクリエーション・リハビリの強化を目指す。また、生産性向上や外国人職員の教育体制の確保と共に人材育成に向け研修を拡充し、指導者にあたる日本人職員のスキルアップも目指していく。

### 1. レクリエーション・リハビリの強化

朝礼時のラジオ体操や日々の介助、レクリエーションの際には、ADL の維持・向上を念頭におき、楽しみながら参加して頂ける雰囲気づくりに努め実施する。また、医務、リハビリ職員、歯科衛生士と連携を図り、楽しみながら日々の生活活動に落とし込んでいけるようなレクリエーション・リハビリの強化を目指す。

### 2. 生産性向上への取組み

昨年度末より研修が始まったトヨタ生産方式を活用し、業務のムラ・ムダを無くしていく。それにあわせ、対人援助の基本である、人物理解・個別化を再度考え、見直し、徹底的に実施していく。全スタッフが考える機会をもち、意見を出し合いながら、いかに業務のムラ・ムダをなくし利用者本位の介護を実施し、業務効率を上げて行けるかを考えていきたい。

### 3. 感染対策強化

昨年度2月の新型コロナウイルス感染症クラスター発生の経験をもとに、看護師、感染症委員会とも連携し基本的な対応から有事に臨機応変な対応までできるよう研修を定期的に行い、今まで以上に各スタッフの意識を高めていく。また、検温・うがい・手洗い・消毒の徹底、マスクの着用、「一行為一手洗い」の励行をし、コロナ、その他の感染症予防に努めていく。

### 4. 介護技術の指導強化

#### I. キャリアアップ支援と人材育成体制の充実を図る

コロナ対策を徹底し、Zoom などを活用したオンライン研修への参加支援を行う。また、内部研修及び介護技術研修部門と連携し、介護の質・技術力の向上を図る。

#### II. 内部研修 について

昨年度、外部研修への参加は適宜できたものの、内部研修として伝達講習がなかなか実施できなかったため、今年度は介護技術指導者とも連携し、ADL の維持・向上、自立支援に向けた介護の基本を踏まえ内部研修として実施していく。あわせて、積極的に福祉用具などを活用し、一人にかかる負担の軽減を図る。また、看護師・作業療法士・歯科衛生士らと連携を図り研修を実施

し、介護技術の向上に繋げ資質の向上を図りたい。

### III. 外国人職員の育成・定着について

外国人職員の日本語学習においては、日本語勉強会を活用し、先生方とも連携を図ると共にリーダー及び主任・相談員が、各所属班での状況把握、サポート体制の強化を図っていく。日本語コミュニケーションの向上にむけ、積極的にコミュニケーションを図らなければならない職場環境を作り、介護技術や知識の習得と合わせ進捗を確認していきたい。また、日本語能力試験、介護福祉士受験対策に力を入れ、対象となる職員の学習方法を確認しながら学習のサポートを行っていく。介護技術においても情報共有を徹底し、それぞれの職員のレベルの把握、いかにブラッシュアップしていくかを考えながら、安全で安心な介護提供が出来るようにする。

また、介護福祉士取得後の退職に歯止めがきかず、日本人職員からも不安、不満の声が上がっている。3か月に1度面談を行っていきながら情報収集し、職場の環境整備もあわせ、継続的に働きたいと思う環境作りを目指す。

### IV. 介護ロボットなど IoT 及び ICT 活用について

クラスター発生時にも大活躍だったインカムをはじめ、眠りスキャン及び眠りスキャン EYE（見守りカメラ）を適材適所で活用できるよう定期的な使用箇所の見直し等を行いながら、報連相の徹底への活用、他職種含めた連携を図りたい。

### V. 介護技術研修部門の活用

10月から介護技術指導担当者が復帰予定である。それまでは、各班リーダーやその他職員と情報を共有し、介護技術指導を要する職員への指導を行っていく。介護技術指導担当者復帰後は、要指導者を再度選定、現場での実践研修を通して指導を行う。また、今までのQC活動を踏まえ、リーダー及び主任、相談員と共に介護技術指導担当者とも連携し、業務の効率化を図りながら、新しい介護技術や福祉用具の活用を検討し、職員の負担軽減に努めたい。

## 5. 有給取得強化について

昨年度は、コロナ禍により、連続したリフレッシュ休暇を積極的に取得する動きが鈍ってしまった。今年度は、計画的に年次有給休暇の5日以上取得及び生活支援休暇も活用した連続リフレッシュ休暇を全職員が取得出来るようにしていきたい。

## 6. 次期役職育成及び資格取得

### I. 次期相談員・主任・リーダー候補の育成

退職や産休育休職員のフォロー等による職員の異動にも対応出来るよう、次期相談員・主任・リーダー候補を選定し、それぞれの現役職者が育成を行い、質の向上を図り、レベルの底上げに繋げたい。また、職員一人ひとりの人生設計にも配慮しながら、ワーク・ライフ・バランスを考えられるようコミュニケーションを図り、候補者選定、無理のない育成を行っていきたい。

### II. 資格取得の向上

介護福祉士及びケアマネジャーの受験資格がある者については施設で確認し、積極的に受験要請を行う。また、受験者に配布されている問題等で疑問点がある場合には、質問等出来るような環境を整え、受験者が勉強する意識を高め、介護福祉士及びケアマネジャー資格取得率の向上を図りたい。

## 7. 収入の確保

ショートステイ・医務・病院の地域連携室との連携を行い入退院に向けたベッドコントロールやロングショートの確保を行い、空床をできる限り出さないように努める。入院については、状態観察を強化し、医務と連携し、早期発見⇒早期入院⇒早期退院へと繋げたい。また、入所率 98%以上をキープすることを目指したい。入院ベッドの利用やロングから特養にスムーズに移行させるためにも今年度もショート相談員と密に連携をはかり、入所申し込みがあった場合には、早期の面談等迅速に対応していきたい。

LIFE 関連の加算として、昨年度の 12 月まで栄養マネジメント強化加算の算定に必要な管理栄養士の確保ができなかったが、以降算定可能となっているため、今年度は、異動などにも対応できるよう余剰の確保も含め動いていきたい。

支出として、技能実習生、特定技能生の入国が 9 名予定されているが、EPA 介護福祉士生の退職も相次ぎ、今後の退職予定もある為、この 9 名の人件費は抑えられる。しかし、今後も人員確保のためにも、定期的な採用を行っていくことが考えられるため、人件費の増加は必至である。

●年間収入予想(令和元年度実績の 2 月・3 月分は目標の数値です。)

(単位:千円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
令和 3 年度収入	36,669	37,725	36,739	37,823	38,316	36,991	224,263
令和 4 年度収入計画	36,682	37,738	36,751	37,857	38,329	37,004	224,361
令和 3 年度支出	30,624	27,410	45,187	28,044	32,629	29,085	192,979
令和 4 年度支出計画	33,057	34,245	50,620	34,245	34,245	33,057	219,469
令和 3 年度収支差額	6,045	10,315	-8,448	9,779	5,687	7,906	31,284
令和 4 年度収支差額計画	3,625	3,493	-13,869	3,612	4,084	3,947	4,892
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令和 3 年度収入	37,806	37,090	37,543	37,744	34,197	37,843	446,486
令和 4 年度収入計画	41,629	40,842	41,333	41,520	37,619	41,570	468,874
令和 3 年度支出	28,769	39,834	41,786	31,298	41,000	44,520	420,186
令和 4 年度支出計画	34,245	33,057	49,608	34,245	30,681	34,245	435,550
令和 3 年度収支差額	9,037	-2,744	-4,243	6,446	-6,803	-6,677	26,300
令和 4 年度収支差額計画	7,384	7,785	-8,275	7,275	6,938	7,325	33,324
令和 3 年度と令和 4 年度計画の収入比率							105.0%
令和 3 年度と令和 4 年度計画の支出比率							103.7%
令和 3 年度と令和 4 年度計画の差額比率							127%
収入・支出・差額についての管理者意見							
収入に関しては、大きな収入の増加は見込めないが、前年度ほとんど算定できなかった栄養マネジメント強化加算が取れる人員配置が整ったため、確実にとっていききたい。							
支出に関しては、技能実習生、特定技能生が合わせて 9 名入国予定である。今後も人員確保のためにも、定期的な採用を行っていくことが考えられるため、人件費の増加は必至である。							

# サンライフ御立ショートステイ

## 令和4年度 事業計画書

令和4年度経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す。」をもとに、引き続き感染防止に力を入れながら、コロナ禍の中であっても安心して利用していただき、利用者様・家族様が心身共に健康を維持して生活できるような立ち位置となれるよう職員一丸となって取り組んでいく。

### 1. 継続した感染症対策

2月に、特養利用者様がコロナ陽性となり施設内に感染が広がった。ロングショート利用の方も1名感染し、約1か月に渡り受入れを停止することとなってしまった。職員の感染対策で身に着けたことは継続し、今後も換気、手洗い消毒など基本の徹底、送迎時の検温と体調確認を行っていく。外からの受け入れにより感染が発覚したとしてもそれを拡げないよう徹底していく。

コロナ禍が落ち着くまでは、このまま継続して特養との行き来は停止し、どちらで感染があっても最低限に抑えられるようにする。気温に合った衣類の着用、室温調整も全員が意識し徹底して行っていく。その他看護師、感染症委員会とも連携し、感染症予防の研修も定期的におこない、コロナその他の感染予防に努める。

### 2. 利用者様・家族様の満足度

生活リハビリや、歩行の機会の継続、楽しいと思ってもらえる時間を持つことで心身の健康維持に努める。安心してご利用いただくよう本人様、ご家族様との信頼関係の構築にも力を入れる。

I. 新規の受け入れ時には情報共有を行い、積極的に関わりを多く持ち、初回利用の不安軽減に努め、継続した利用に繋げていく。

II. 楽しいと思える時間を増やし活性化を図る。

・コロナの状況が落ち着いていれば、4月～9月は外出レクを企画し気分転換を図る。レクリエーションや行事についてフロア会議で各自がアイデアを出し合う。大きなテレビに映せる YouTubeなどを大いに活用し、体操の時間も取り入れ体を動かす機会を多く持つようにする。

II. 依頼を受けたケアの要望にきちんと応える。

去年も目標に掲げていたが、抜けや漏れが目立った。セッティングのし忘れが多くみられたため、誰もがもれなく実行できる仕組み作りをおこなっていく。

IV. 家族様とのコミュニケーションについて、コロナ禍による面会制限は今後も続くことが予想される。信頼関係構築のため、変化があった際のこまめな連絡や、手紙による近況報告、Zoomによるオンライン面会などを継続してしっかりと行っていきたい。

### 3. 介護技術の指導強化

- I. キャリアアップ支援と人材育成体制の充実を図る
  - II. II. 内部研修 について
  - III. 外国人職員の育成・定着について
  - IV. 介護ロボットなど IoT 及び ICT 活用について
  - V. 介護技術研修部門の活用
- 上記項目について、特養とともに協力して実施していく

### 4. 事故防止の取り組みを継続していく

ヒヤリハットを 1 日 5 件提出し、事故の発生を防ぐようにすることを継続する。注意喚起のポスターに替わるものをフロア会議で検討していく。フロアでは常に見守りの目が必要であることを全員が意識し、場を離れる際の声掛けや、無人にならないような動き方を徹底していく。

### 5. 有給取得強化について

計画的に年次有給休暇の 5 日以上を取得および生活支援休暇も活用したりフレッシュ休暇を全員が取得できるようにする。

### 6. 収入の確保について

昨年度最初の 3 カ月以降、稼働率も 102%を超えて安定していたが、2 月のコロナ感染による利用停止により大きく減収することとなった。それでも定員の約 80%の方がロング利用であったため一定数の利用は確保された。ただし、3 月に多数の特養入所があり、通常稼働が 11 日からの受け入れとなったことで 3 月は最低稼働率となる。特養相談員、主任と情報共有し、各方面に面談にいきロング利用者確保を早急に進めていく。土日等の急な依頼にも出来る限り対応し、空床情報を発信し、単発枠の空床を出さないように努める。取得できていたサービス提供加算の条件が厳しくなったことで取得できず、看護体制加算Ⅱも安定した取得が難しいことから、その部分での収入は減るが、単発枠をしっかりと埋め、ロング利用者待機者の確保に努めることで稼働率 100%以上、収入の増加を目指していく。

※ 令和3年度2月、3月は予想である。

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	8,616	8,809	9,105	11,642	11,559	10,512	60,243
令和4年度収入計画	10,770	10,307	10,409	11,758	11,559	10,617	65,420
令和3年度支出	8,279	7,700	12,580	7,888	8,625	6,877	51,949
令和4年度支出計画	8,031	7,469	12,203	7,651	8,366	6,671	50,391
令和3年度収支差額	337	1,109	-3,475	3,754	2,934	3,635	8,294
令和4年度収支差額計画	2,739	2,838	-1,794	4,107	3,193	3,946	15,030
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	10,458	11,485	11,728	11,957	8,809	8,000	122,680
令和4年度収入計画	10,667	11,485	11,259	11,479	10,042	10,240	130,592
令和3年度支出	8,125	11,300	11,865	7,665	8,200	9,049	108,153
令和4年度支出計画	7,451	6,930	11,322	7,099	7,763	6,189	104,069
令和3年度収支差額	2,333	185	-137	4,292	609	-1,049	14,527
令和4年度収支差額計画	2,786	-267	-1,081	3,507	1,514	829	22,318
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							106%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							97%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							154%
収入・支出・差額についての管理者意見							
以前の加算は取れなくなるものの、毎月の稼働率を100%以上に維持すること							
で収入増が見込める。							
昨年度は修繕費その他支出がかなり多くなっていたのでそれを減らすことで差額を増やす。							

# 特別養護老人ホームサンライフ御立（医務）

## 令和4年度 事業計画書

今年度ささゆり会経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」に添って、以下の項目を軸として事業計画を立案する。

### 1. 新型コロナウイルス等の感染対策

I. 日常的な感染予防対策、標準予防策の実施

II. 委員会と連携し、新型コロナウイルスを含めた感染症の基礎知識の普及を図る

感染症対策の基本は「一行為一手洗い」である。前年度の新型コロナウイルスによる施設内クラスターを教訓に、平時からの基本的な感染予防対策の徹底を図る。

現在海外職員の割合も増加しており、必要時には感染症委員会とも協力し各々の理解度に合わせて直接指導していく。

施設長、事務所と共に感染症対策物品の備蓄管理を行う。

### 2. ベッド稼働率の維持（経営力強化）に向けて

I. 入所者様の健康診断を年1回実施する。嘱託医の指示のもと、診断結果から潜在性疾患の検索や異常の早期発見・早期治療を図り、ベッド稼働率の維持（目標値 98%以上）を目指す

II. 嘱託医からの事前ルーチン指示や早期の受診件数の増加を図り、入院数の軽減を目指す

健康寿命を延伸していくことが経営スローガンやベッド稼働率の維持に繋がると考える。そのために、可能な限り個別性のある看護・介護対応を展開し、自立支援や残存機能の維持に向けて多職種間で協働していきたい。

### 3. 職員の健康増進

I. 職員健康診断を産業医、医師会協力のもと年1回（深夜業に従事するものは2回）実施する

II. 人間ドック助成やオプション健診対象者については、健診への呼びかけを行い受診率の向上を図る

自身の健康状態への関心を高めるために、各種健康診断の重要性を啓発していく。

要検査や要受診の診断ある職員については、個別に書類を配布することで受診を促し、安全に就労できるようにはたらき掛ける。

# 令和4年度 特別養護老人ホームサンライフ御立(厨房)

## 事業計画書

今年度は厨房内業務のマニュアル化・タイムスケジュールの作成を進めていく。さらに、感染症発生時の対応マニュアルも作成し、いつ同じようなことが起こっても迅速な対応ができるようにする。

### 1. 人材の定着・育成

前年度は、2名の退職、3名の入職があった。職員により、調理や盛り付け等の技術に差が見られるため、誰が行っても同じように業務が行えるように、人員の育成に力を入れていきたい。また、作業のマニュアル化も進め、仕事の引継ぎにかかる時間を省いていきたい。

### 2. 献立の充実

コロナで外出・外食ができない状況が続いている。そのため、普段の食事に季節感を取り入れ、ることや、行事食を行い、楽しんでもらえる食事を提供していく。また、普段からおいしそうに見える盛り付けを意識し、配膳していく。

令和4年1月より、ミールラウンドを始めたことで、入居者の食事の様子を見ることが可能になった。食べやすい食材、好まれるメニューを把握し、献立に反映していきたい。

### 3. 衛生管理

昨年度は特養にてコロナの感染が拡大したため、使い捨て容器の使用法、トレーや配膳車の消毒方法を厨房の職員に徹底してもらった。また、このようなことが起きても早急な対応ができるように、より細かなマニュアルの作成・容器等の仕入れ業者の周知に力を入れていく。また、厨房内から、新型コロナウイルスが蔓延しないよう、各自が危機感を持つよう・体調管理に気を配るよう働きかけを行う。

異物混入に関して、昨年度は報告がなかったが、食器・トレーの汚れの報告があった。洗浄の際、より丁寧に洗うのはもちろん、配膳前のチェックも行う。

### 4. 栄養ケアマネジメントの充実

昨年度より、新たに栄養マネジメント強化加算が算定された。ミールラウンドの充実や介護職・医務との連携をはかり、入居者によりよい栄養ケアを行えるようにする。また、副菜は刻み食だが、主菜は極刻みにするなどの、それぞれに合わせた食事の提供にも力を入れていきたい。

# デイサービスセンターサンライフ御立

## 令和4年度 事業計画書

令和4年度経営スローガン「足腰・頭を鍛えいつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」を基に、利用者様が1日を通して楽しく明るく快適に過ごして頂けるような施設作りを行っていく。老舗のデイサービスの為、レクリエーションは多種多様ではあるがマンネリ化が否めない状況である。音楽レクリエーション・バンド体操を中心に既存のレクリエーションに関しては内容の見直しを図りマンネリ化を払拭したい。また感染対策の継続と合わせて、施設内整備・清掃を今まで以上に実施し、明るく清潔感のある空間作りを徹底していく。

大幅な利用者様の減少により危機的な状況ではあるが、新規利用者の獲得と定着を目標に黒字転換を目指す。

### 1. サービス内容の見直しについて

要支援1から要介護5と幅広い利用者層の為、どの利用者様にも対応できるレクリエーションを実施していく必要がある。その一つとして、以前より電子ピアノによる生演奏や、歌カルタ、リズムに合わせて体を動かす体操などの音楽レクリエーションが利用者様から好評を得ており、音楽が持つ無限の力で五感を刺激し、楽しみながら心身ともに健康を維持できる音楽レクリエーションの充実を図り、それを筆頭に他のレクリエーションについてもリニューアルを試みたい。

### 2. 感染対策

昨年度に引き続き利用者様・職員ともに、検温・マスクの着用・うがい・手洗い・消毒を徹底し感染対策に努めていく。コロナ感染対策だけに関わらず日常の業務に関してもスタンダードプリコーションの徹底を図るため、感染症対策の研修を昨年度末より複数回に分けて実施し職員の感染対策の基礎知識向上に努めたい。

### 3. 利用者の確保について

昨年度は、在宅生活の継続が困難になりつつある利用者様が多く、施設入所となり中止となるケースが多くあった。またコロナ感染拡大により思うように営業活動等行えず利用者様の確保ができない状態にあった。今年度はパンフレット・チラシのリニューアルを行い、積極的な営業活動・広報活動を実施し利用者の確保に努めたい。

※令和3年度2月3月は予想である。

\*収入は介護報酬の収入を記載

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	3,755	3,585	3,037	2,969	2,884	3,105	20,335
令和4年度収入計画	3,147	3,148	3,408	3,409	3,657	3,762	20,531
令和3年度支出	3,348	3,004	3,475	2,901	4,257	3,244	20,229
令和4年度支出計画	3,432	3,432	3,832	3,564	3,432	3,432	21,124
令和3年度収支差額	407	581	-438	68	-1,373	-139	-894
令和4年度収支差額計画	-285	-284	-424	-177	225	330	-593
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	3,427	3,648	3,452	2,966	2,800	2,800	39,428
令和4年度収入計画	3,761	3,761	3,657	3,518	3,377	3,798	42,403
令和3年度支出	3,134	5,269	5,009	3,733	3,168	3,432	43,974
令和4年度支出計画	3,432	3,432	3,964	3,300	3,168	3,564	41,984
令和3年度収支差額	293	-1,621	-1,557	-767	-368	-632	-4,546
令和4年度収支差額計画	329	329	-307	218	209	234	419
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							107%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							95%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							

収入・支出・差額についての管理者意見

昨年度まで入所待ちの間デイサービスを一時的に利用する方が多く、デイサービス利用の定着には結びつかないケースが大半を占めており、安定した集客力を得ることができず、減収の一端をたどっている。黒字転換の為には、在宅での生活を維持しデイサービスをある程度の期間利用できる方の増加が今後の収入の安定につながると考えられる。支出に関しては、昨年度は外壁工事等大がかりな修繕がいくつかあり支出増となったが、それ以外人件費を含め昨年度とは大差ないと考えられる。

●令和4年度予想利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	17.8	16.3	14.1	13.9	13.7	14.4	15.0/月平均
月合計(人)	462	424	367	377	355	373	2,358
令和4年度目標	14.0	14.0	15.0	15.0	16.0	17.0	15.1/月平均
月合計(人)	364	364	390	390	432	442	2,382

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	16.0	16.9	15.4	13.6	13.6	13.6	14.8/月平均
月合計(人)	416	441	415	341	341	341	2,295
令和4年度目標	17.0	17.0	16.0	17.0	17.0	17.0	16.8/月平均
月合計(人)	442	442	432	442	442	442	2,642

(令和3年度2月3月 予想)

# ケアハウスサンライフ御立

## 令和4年度事業計画書

### 1. 事業計画策定

「コロナウイルスと共存していく社会で、新しい生活スタイルを考える」

- I. 2年前の1/16、国内初の感染者が確認されて以来常に新型コロナウイルス感染で時間が経過した。コロナウイルスとの共存するwithコロナ時代・・今後も、いろいろな変異株が出現することが予想される。日常生活において有効な感染症対策を上手く習慣化していく必要がある。感染しない・させない意識をもって、飛沫感染と接触感染による感染経路を断つ工夫を取り入れたい。

フレイル状態に陥っている入居者が複数存在し、現状を改善する事を重点目標にしたい。只、新型コロナウイルスの感染状況に左右されるのは否めない。十分な感染予防対策を講じながら焦らずに徐々に各行事、教室を元の状態に戻すことを目指したい。

入居者の大半が、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間に位置していると考えられる。加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能の障害、心身の脆弱性が認められる。

この1年、職員が介入・支援をどう進めていくのが良いかを考えていきたい。入居者と共に生活機能の維持向上を目指したい。

- (1)入居者1人ひとりが、現在の身体状態を把握する。また、測定及びチェックを定期的実施し変化を認識してもらう。

健康チェック	現行、2回/月	実施	継続
体力測定	現行、2回/年	実施	継続
骨密度測定	2回/年	実施予定	新規
フレイル・口腔内チェック	2回/年	実施予定	新規
健康診断	現行、1回/年	実施予定	継続

- (2)予防の為の対策

いきいき百歳体操及びラジオ体操	現行、月～金曜日(午前9:15～)
学習療法	現行、1回/週
各種教室の実施	
現行、「フラワーアレンジメント教室」「手作り教室」	
新規で「カラオケ教室」「運動教室」	
行事の実施	
現行、「誕生会」「ふれあい喫茶」「外食・バスハイク」「買物の日」	
継続実施したい	

## II. 収支目標

収入については、空室の期間を出来る限り短期間にして満室状態を維持する事が大切である。万全な新型コロナウイルス感染防止を心がけ待機者の確保も継続的に行い、スムーズな入退去とする。

支出に関しては、経年劣化による補強や取り替えが予想される（感染症対応及び緊急時対応の設備等）。

※令和3年度2月3月は予想である。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	2,847	9,588	2,860	2,577	9,853	2,707	30,432
令和4年度収入計画	2,855	9,555	2,850	2,560	9,870	2,713	30,403
令和3年度支出	3,354	3,114	4,878	3,089	4,561	3,185	22,181
令和4年度支出計画	4,970	3,610	4,810	3,610	3,610	3,610	24,220
令和3年度収支差額	-507	6,474	-2,018	-512	5,292	-478	8,251
令和4年度収支差額計画	-2,115	5,945	-1,960	-1,050	6,260	-897	6,183
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	2,887	2,776	9,614	2,863	2,883	2,719	54,174
令和4年度収入計画	2,881	2,730	9,519	2,870	2,993	2,789	54,185
令和3年度支出	4,151	7,185	4,887	3,273	3,702	3,702	49,081
令和4年度支出計画	4,970	3,610	4,810	3,610	3,610	3,610	48,440
令和3年度収支差額	-1,264	-4,409	4,727	-410	-819	-983	5,093
令和4年度収支差額計画	-2,089	-880	4,709	-740	-617	-821	5,745
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							100%
令和4年度と令和4年度計画の支出比率							99%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							113%
収入・支出・差額についての管理者意見							
収入について、ADL低下の入居者が増えている。ケアでの生活が難しく他施設への移動が予想される。重ねて、新型コロナウイルス感染予防もありスムーズに新規入居者が決まらない為、減額となる見通しである。スムーズな入退去を心掛け、増額を目指したい。							
支出については、経年劣化による補強や取り替えが予想される。							

## 2. 職員の健康増進

生活支援休暇及び年次有給休暇の取得については、勤務表作成前に希望休を募り業務に支障をきたさない様とする。

## 3. 介護福祉士、介護支援専門員の資格取得

本年度は、該当者なし

# ユニット型老人ホームサンライフひろみね

## 令和4年度 事業計画書

今年度ささゆり会経営スローガンである事業計画の目標「**足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す**」を基に介護の原点に立ち返りADLの維持又は向上を念頭におき、取り組んでいきたい。ユニット型施設のメリットを最大限に発揮できるように「個別ケア」に重点をおき入居者様が快適に過ごせる施設を職員の共通目標としていく。猛威を振るっている新型コロナウイルスには最大限の注意を払い持ち込まないことと早期対応・対策を心掛け安心して過ごせる場の提供に努める。

### 1. 科学的介護の実践について

科学的根拠に基づきながら質の向上に努める。

- I. ささゆり会で取り組んでいる日中おむつ外しを継続して取り組むことで、日中おむつ率0%を目指し個人の尊厳を守り尿路感染やスキントラブルの防止に努める。トイレに行くことで生活リハビリにもなる為、立位保持や座位保持をして頂く機会も兼ねて行う。また排便コントロールにも重点をおき健康管理を行う。
- II. 常食率の向上を引き続き目指す。入居者様の食べる能力の維持・向上を目指す。
- III. 統計を出し数値化することによって職員の目標設定を具体化する。

### 2. 看取り介護について

平均介護度が4.3と高い介護度の為、昨年度は看取り介護の需要が高い状況であった。入居者様・ご家族が、満足のいく看取り介護となるように、日頃から親身に接しラポール形成に努め、精神的サポートを含め連絡を密に取りサンライフひろみねに入居できて良かったと思って頂けるようにケアの質向上を目指す。デスクンファレンスや施設内研修を実施することで職員の精神的な負担の軽減を図り質の向上に努めたい。また医療的ケア（喀痰吸引等2号研修）も新型コロナウイルスの影響で進んでいない状況ではあるが、受講機会があれば積極的に進め、安楽に過ごせる環境の整備に努める。

### 3. 職員の労働環境の整備

労働人口の減少に伴い慢性的な人員不足の介護業界だが、サンライフひろみねでは平均すると入居者様に対して介護・看護職員の割合が1.4：1と高い配置でケアを提供できた。既存の職員を大切にし離職防止に努める。またマンネリ化している現在、行っている業務は適正か検証し無駄な業務は排除し労働環境の整備を図る。良質なサービス提供をするにあたり、職員は不可欠な存在です。既存職員が安全や健康を維持す

るとともに、快適な職場環境の形成に取り組めます。

- I. 連続リフレッシュ休暇が確実に取得できるように職員の希望を3月に聞き計画的に進める。又、有給休暇も適正に消化できるように配慮する。
- II. 働きがいのある職場づくりのため、ワーク・ライフ・バランスに配慮する。過重労働による健康障害を防止するため、労働時間の適正管理の徹底を行う。
- III. 労災事故のゼロを目指す。小規模特養に応じた適正な職員配置を心掛ける。介護機器の導入やICTの導入を進め少数精鋭を目指す。
- IV. ミャンマーからの特定技能実習の実習生受け入れがクーデターや新型コロナウイルスの影響で進んでいない状況にあるが、いつでも受け入れできる体制を整える。また、介護内容を簡素化できるように検討し写真や動画を活用し目で見て理解できるようにしていく。

#### 4. 職員教育・組織体制作りについて

未経験で介護業界で働こうとチャレンジする方がすぐに挫折してしまう事が多くあるが、少ない人材を無駄にすることが無いように、教育体制の見直しと不安を軽減できるように配慮する。既存の職員においては、資格取得を含め介護技術の向上を目指す。

- I. 外部研修（オンライン研修含む）への参加機会を増やし介護技術の向上及び職員の意識向上や施設サービスの活性化を図りたい。
- II. 介護福祉士受験対象者がいる為、学習の進捗状況を把握し勉強会に参加できる環境を整える。
- III. 人員募集を随時行い優れた人材を確保できるように努める。
- IV. 新入職員へ認知症の研修やマンツーマンでの実技指導を行うことで、基本的な介護技術や理念の習得を図ると共に、不安や疑問をすぐに相談できるよう配慮し、安心して意欲的に働ける職場環境作りを目指す。

#### 5. 地域貢献について

- I. 新型コロナウイルス対策で書面での運営推進会議を実施しているが、感染状況に応じて感染対策を徹底し施設内での推進会議が開催できるように努めたい。
- II. 地域の方と交流をもつため地域行事への参加を検討する。
- III. 地域の防災訓練への参加。地域住民に当施設での避難訓練に参加してもらうことで災害時の連携体制を整える。
- IV. 姫路市医師会看護専門学校の看護実習や龍野北高等学校の介護実習を受け入れることで地域医療の発展や人材育成に貢献する。

## 6. 介護統計について

令和4年度介護状況目標

項目		令和4年2月末状況	令和5年3月末目標
日中オムツ使用率		2名(7%)	0名(0%)
入浴統計	特浴	3名(10%)	2名(7%)
	リフト付個浴	17名(59%)	18名(62%)
	個浴	9名(31%)	9名(31%)
食事形態	普通食	24名(83%)	25名(86%)
	刻み食	0名	0名
	極刻み食	0名	0名
	ミキサー食	5名(17%)	4名(14%)
	経管栄養	0名	0名
褥瘡者		0名	0名
身体拘束		0名	0名
看取り介護実施 ※		10名(91%)	(100%)

※看取り介護実施率=看取り介護実施者/全退所者（急死を除く）

## 7. 事業運営について

- I.感染症対策を引き続き徹底して行い施設内感染を防ぐ。
- II.入居希望者が減っている為、定期的に病院の地域連携室、居宅介護支援事業所に連絡を取り待機者確保に努め退所後の空室を減らし稼働率年間平均99%を目指し収入の確保に努める。
- III.年々増えている人件費においては、適正人員に目を向けた運営を心掛ける。また労働人口の減少に伴い人員不足でも対応できるようにICTの導入をすすめる。
- IV.個人情報保護に留意しながらインスタグラムを活用し施設の情報発信に努め開かれた施設運営に努める。

年間収入目標

※令和3年度2月3月は予想である。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	13,772	13,786	12,949	13,801	13,916	13,184	81,411
令和4年度収入計画	13,379	13,736	13,375	13,740	13,813	13,299	81,342
令和3年度支出	10,564	10,382	15,696	9,422	11,706	9,851	67,623
令和4年度支出計画	9,955	10,631	15,982	9,778	9,979	23,815	80,140
令和3年度収支差額	3,208	3,404	-2,747	4,379	2,201	3,333	13,788
令和4年度収支差額計画	3,424	3,105	-2,607	3,962	3,834	-10,516	1,202
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	13,880	13,506	13,962	13,834	12,326	13,591	160,570
令和4年度収入計画	13,816	13,299	13,813	13,740	12,430	13,727	162,167
令和3年度支出	11,425	9,509	15,075	11,514	8,665	11,553	129,644
令和4年度支出計画	10,846	9,344	16,040	12,029	9,055	12,075	149,529
令和3年度収支差額	2,454	3,997	-1,113	2,319	3,651	2,037	30,925
令和4年度収支差額計画	2,970	3,955	-2,227	1,711	3,375	1,652	12,638
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							101%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							115%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							41%
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>収入に関しては、稼働率99%を目指し収入の確保に努める。支出においては職員の定着率を課題に取り組み、職員紹介業者等への無駄な支出を減らし適正人員で運営することを心掛ける。介護ロボやICTの導入で1,400万円程掛かる見通しの為、稼働率と人件費に着目し収支差額の確保に努める。</p>							

# デイサービスサンライフ田寺

## 令和4年度 事業計画

令和4年度のささゆり会経営スローガン「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」から、歯科衛生士による口腔機能向上と理学療法士による個別機能の加算算定を行い、専門性を中心としたデイサービスを目指す。

また、本年度は業務の効率化や職場の活性化を目指し、職員の負担を少なくし、少人数でも質の高いサービスを行えるようにしていく。

全体として、職員の体調管理、残業時間の減少、休暇の取得をしっかりと行うと共に、備品などの手入れ・管理を徹底していく。

### 1. 利用者数の確保

新型コロナウイルスの感染の予防を継続し、個人個人の能力に応じたレクリエーションや楽しくできる機能訓練を目標に利用者の満足度を上げる。また、みまもりアプリやSNS等を活用し積極的に情報発信する。居宅への訪問も定期的に行い、必要に応じて前年度でも実施した折込チラシのポスティングを行う。

### 2. 職員の休暇取得について

年次有給休暇の取得ができているが、送迎のできる職員が少なく一人休むと、一人一人の負担が大きくなってしまう。通常業務においては時間内に仕事を終了し、疲労感をためないようにサポートしていく。また、感染症などの知識を身に付け、自身の体調管理と蔓延化を予防する。

### 3. サービスの向上に向けた職員の教育

外部研修はズームなどを使用して参加を促していく。4月から改善プログラム「職場活性化コース」を学んだことを職員に周知し、活性化した職場を目指していく。

また、運転する前に飲酒検査が義務化となり、運転に対する指導も今以上に行っていく。

### 4. 収支について

収入としては、6月より個別機能訓練加算Ⅰ（口）85単位と4月より口腔機能向上加算(300単位/2回)の算定を予定している。支出としては、人件費の増加、修繕費（固定電話の変更）が大きくなると予想される。

### 5. ふれあいレストラン「レストランテヴォーノ田寺」について

コロナ禍で地域の状況や感染状況を把握し、職員やボランティアへのリスクがない程度に随時実施していく。

※令和3年度2月3月は予想である。

※収入は介護報酬の収入を記載。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	6,196	6,162	5,830	5,979	5,594	5,446	35,889
令和4年度収入計画	6,314	6,713	6,713	7,170	6,929	6,775	40,617
令和3年度支出	4,580	7,497	5,804	4,161	5,977	4,614	32,633
令和4年度支出計画	5,145	5,230	7,446	5,790	5,321	5,273	34,205
令和3年度収支差額	1,616	-1,335	26	1,818	-383	832	2,574
令和4年度収支差額計画	1,169	1,483	-733	1,380	1,608	1,502	6,409
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	5,948	6,504	6,246	5,699	4,600	5,900	70,104
令和4年度収入計画	7,246	6,767	6,800	6,755	6,297	7,147	81,626
令和3年度支出	5,076	4,739	5,813	4,944	5,501	6,500	65,206
令和4年度支出計画	5,311	5,419	5,968	5,207	4,831	5,111	66,052
令和3年度収支差額	872	1,765	433	755	-901	-600	4,898
令和4年度収支差額計画	1,935	1,348	832	1,548	1,466	2,036	15,574
令和3年度と令和4年度計画の収入比率				116%			
令和3年度と令和4年度計画の支出比率				101%			
令和3年度と令和4年度計画の差額比率				317%			
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>収入は口腔機能向上加算と個別機能訓練加算の算定により増加が可能。ただ、その分収入は、新たな加算を算定することによる増加となり、支出は施設備品の交換・修理やリハビリ専門職員の採用により人件費の増加が考えられる。</p>							

令和3年度目標利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	27.3	26.1	26.8	25.8	24.8	25.9	26.1/月平均
月合計(人)	712	706	672	698	670	649	4,107
令和4年度目標	26.0	26.0	26.4	25.9	25.8	25.0	25.8/月平均
月合計(人)	676	702	660	700	670	650	4,058

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	26.9	27.7	27.6	25.9	25.7	26.5	26.7/月平均
月合計(人)	727	721	720	648	541	689	8,153
令和4年度目標	25.9	26	24.1	25.9	26.1	26.5	25.7/月平均
月合計(人)	700	650	650	648	600	689	7,995

\*令和3年度実績2月3月は予想です。

※令和3年度2月3月は予想である。

●令和4年度収支計画

(単位:円)

レストランテヴォーノ田寺

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度 収支実績	-10,000				-1,000		-11,000
令和4年度 収入計画			1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
令和4年度 支出計画			10,000	10,000	10,000	10,000	40,000
令和4年度 収支計画			-10,000	-10,000	-10,000	-10,000	-40,000

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度 収入実績		-9,000	-46,000				-66,000
令和4年度 収入計画	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	12,000
令和4年度 支出計画	10,000	10,000	50,000	10,000	10,000	10,000	140,000
令和4年度 収支計画	-10,000	-10,000	-39,000	-10,000	-10,000	-10,000	-129,000

# ヘルパーステーションサンライフ御立

## 令和4年度 事業計画書

今年度スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」を念頭に、家族様・利用者様に選んで良かったと思って頂けるヘルパーステーションであり続けられる様、職員・登録ヘルパー一丸となり取り組んでいきたい。今一度、介護保険のルール・マナーがしっかりと備わった事業所へと、全員で方向性の統一を図る。

また働きやすい職場環境作りを継続し、業務プライベート双方にて充実。

1人1人のアイデア・意見を吸い上げて行きながら、誰もが希望を伝えられる・伝えやすいクリアな職場を目指し、日々努めていく。

### 1. 「利用者様と共に行う！」を大切に。

訪問介護とは単なる家事代行という概念を拭う。「身辺のお世話」をするのではなく、「自立した生活の支援」である事を常に感じ、積極的な参加型サービスである事への、意識改善を図る。先回りするのではなく、1つ1つ自己決定をして頂き、自立尊重する・・・。

ヘルパーの意味を再度利用者様・家族様に理解して頂く様、契約時の入念な説明に努め、介助とは代わりにして差し上げるのではなく、あくまでも自立支援が目的である事。出来ない事を出来るよう支援をする。事業所全員で周知し、サービスに努める。

出来る事は、自分です。出来ない事は、手助けをすることで残存能力を生かしながら、出来るようになる。在宅で自分らしい自立した生活維持に繋がられる様、精一杯支援する。

### 2. 人材育成・介護力向上への取り組み

引き続き全体での内部研修・個人研修を継続して実施していく。その中で、ヘルパー個人の到達度レベルをしっかり把握し、弱点をしっかり補強できるバックアップ体制を作る。

例えば、職員との同行訪問や、担当ヘルパーのサービスに同行する等、他者のサービスの様子を見る機会を持つことで、多方向からの視点で利用者様に関われるヒントを得る。視野を広く持てる様、訪問介護は現場では一人だが、チームワークであることを再度徹底していく。

「報・連・相」。仕事を行う上での基本中の基本。徹底できていない部分は、しっかり行う。

「誰かがしてくれる」との概念は捨て、自分の行動・言語には責任を持つことに、努める。

### 3. 収入確保への取り組み

昨年度同様、コロナ禍で、営業活動も思う様に行えないうえ、利用者様・入居施設内でのコロナ感染の有無で長期サービス中止も否めない状況が予想される。利用者受け入れ人数がオーバーしている現状ではあるが、新規依頼や問い合わせには、丁寧に対応するよう努める。

引き続き、毎月発行の「ヘルパーステーション通信」にて、事業所の内部発信を継続し、魅力を最大限お伝えすることを怠らない様、努める。

#### 4. 有給休暇取得

積極的に取得できる様、「申し訳ない」と思わずにすむ当然の権利としての、意識改革。  
仕事への活力・気分転換・心身の疲労回復・何より自身の健康増進の為を目的に、休暇中の業務の引継ぎ・代理訪問をスムーズに進める。  
しっかり休み、そしてしっかり仕事へと向き合えるバランスの取れた職場環境へとより一層変革していきたい。

#### 5. 感染対策の強化

「誰もがウイルスを持っている」前提での、責任ある行動をとる。  
改めて強固な感染症防止策を、マニュアル化する。  
ウイルスを持ち込まない！ 拡げない！ 持ち出さない！  
「こまめな手洗い・手指消毒の徹底・正しいマスク着用」等、  
何より訪問先へは、不要な物を持ち込まない！ 重症化する恐れのある高齢者宅への訪問を担っていることを今一度自覚。そして、何より自身の体調管理についてはしっかり責任を持つことが大前提ではあるが、万が一の際にも、安心して働き安心して休むことの出来る環境整備・心身共にサポートできる体制の強化を継続していきたい。

※令和3年度2月3月は予想である。

※収入は介護報酬の収入を記載。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	3,711	3,570	3,628	3,538	3,431	3,333	21,211
令和4年度収入計画	3,500	3,550	3,600	3,600	3,550	3,530	21,330
令和3年度支出	2,335	2,542	3,450	2,235	3,338	2,180	16,080
令和4年度支出計画	3,240	2,550	3,500	2,300	3,400	2,200	17,190
令和3年度収支差額	1,376	1,028	178	1,303	93	1,153	5,131
令和4年度収支差額計画	260	1,000	100	1,300	150	1,330	4,140
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	3,466	3,559	3,592	3,432	3,450	3,600	42,310
令和4年度収入計画	3,500	3,560	3,600	3,550	3,530	3,540	42,610
令和3年度支出	2,397	2,414	3,610	2,396	2,500	2,500	31,897
令和4年度支出計画	2,550	2,500	3,710	2,400	2,400	2,400	33,150
令和3年度収支差額	1,069	1,145	-18	1,036	950	1,100	10,413
令和4年度収支差額計画	950	1,060	-110	1,150	1,130	1,140	9,460
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							101%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							104%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							91%
収入・支出・差額についての管理者意見							
収入面はコロナ禍での状況にもよるが、大きく変わる予定はないと思われる。							
支出面は、事業所内の電話工事(4月予定)・車検及び冬用タイヤ新規購入等の予定があり、若干増の見込みである。							

# サンライフ御立居宅介護支援事業所

## 令和4年度 事業計画書

### 年間目標

経営スローガン「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」に対し、新型コロナウイルスへの感染症対策を行いながら相談援助や適切なサービスを提案し、元気に在宅生活が継続できるよう支援することを目標とする。

収入については、常勤3名非常勤1名の4人体制については変わらず、前年度にサンライフ岡田開設してから減少した利用者件数を補う必要がある。支出が収入を上回ることが予想される為要支援の新規利用者の獲得を行うことで収入の増加を目指したい。要介護の新規取得も続けて行いたい。

### 1. 担当利用者・収入の確保

4名体制であるが担当者数は上限に至っていない。病院や地域包括支援センターへの営業を行い新規利用者の獲得に努めたい。感染症の流行により入退院や終了等もあるため、定期的に利用状況を把握し新規依頼時にもすぐに動ける体制を整える。担当の利用者様からの紹介等も積極的に受け入れるようにし、特に地域の方の相談等も迅速に対応できるように努める。

### 2. サービスの質の向上

サービスの質の向上のため、要件をみたした職員から順次主任ケアマネジャーを取得するよう心がける。

また、援助を進めていくにあたり困難なケースや問題点がでてきた時等、事業所内で話し合いを行う場をつくり、また、各地域包括支援センターと連携を取り、情報共有を行うことで精神面でのケアと援助がスムーズに行えるよう努める。研修会等にも積極的に参加するよう心がけ最新情報等は事業所内で共有できるよう情報交換共有を行う。

### 3. 有給休暇の取得について

年次有給休暇の5日取得に加えて休みがとりやすい環境を整えることで、リフレッシュできる機会をもつ。きちんと取得するため定期的に声掛けを行う。

### 4. 特定事業所集中減算の回避

訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与のみが対象。減算にならないように現在もグループ内に加え、他事業所の紹介を行っている。引き続き減算にならないよう注意し各事業所からの情報等を収集しておき、紹介できるようにしておく。

## 5. 介護予防支援

令和4年度は、多くの地域包括支援センターとの連携を行い要支援の担当依頼があれば新規獲得に努める。事業所内の状況を考え担当することで、要介護者の新規依頼にも繋げたい。

## 6. 年間収支の予測

※収入は介護報酬の収入を記載

※令和4年度2月3月は予想である。

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	1,900	1,863	1,806	1,749	1,856	1,876	11,050
令和4年度収入計画	1,650	1,650	1,700	1,700	1,700	1,700	10,100
令和3年度支出	1,435	1,400	2,738	1,388	2,738	1,492	11,191
令和4年度支出計画	1,480	1,450	2,830	1,460	2,680	1,750	11,650
令和3年度収支差額	465	463	-932	361	-882	384	-141
令和4年度収支差額計画	170	200	-1,130	240	-980	-50	-1,550
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	1,787	1,855	1,922	1,619	1,620	1,620	21,473
令和4年度収入計画	1,750	1,750	1,800	1,700	1,700	1,700	20,500
令和3年度支出	1,595	1,400	2,856	1,534	1,551	1,551	21,678
令和4年度支出計画	1,500	1,460	3,050	1,530	1,530	1,530	22,250
令和3年度収支差額	192	455	-934	85	69	69	-205
令和4年度収支差額計画	250	290	-1,250	170	170	170	-1,750
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							95%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							102%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							

### 収入・支出・差額についての管理者意見

収入は、現職員での担当件数が上限に至っていない為新規利用者の獲得が必要である。

支出は、人件費が年々増加しているためやや増加している。

ADSL回線の使用期限が迫っているため固定電話の買い替えが必要である為20万円程度の支出が見込まれる。

前年度に比べ担当件数が減少しているため、収入は地域包括支援センターへの営業活動を行い、要支援者の新規獲得、認定調査依頼による収入増加を目指すことで前年度差額が減少するように努めたい。

# デイサービスサンライフ安室

## 令和4年度 事業計画書

「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」をスローガンに、施設・職場環境を整え、利用者・職員がいつまでも健康で楽しく長く利用できる（勤めることができる）デイサービスになるよう職員一丸となって、介護技術の向上や職員研修に取り組んでいく。

また、営業活動による利用者数の確保や、利用者対応を丁寧に行うことで、利用登録者数の増加を目指し、収入の増加を図っていく。

### 1. サービス内容の向上

新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、利用者様に楽しんでいただけるレクリエーションやサービスを目指す。外出への希望が強くあるため、感染状況に合わせて、人との接触を避けた場所への外出を企画・実施していく。月に2回来ていただいている移動スーパー「ふれあいのマルシェ」は、買物手段のツールとして利用者様に定着してきているため、今後も引き続き継続していく。

また今年度は前年度から継続しているレクリエーションに加え、ICTを使用したレクリエーションを積極的に活用していく。ICTを利用することで利用者様の年齢層に合わせた気分転換や脳の活性化を図る機会につなげていく。

### 2. 職員の質の向上・健康増進

新型コロナウイルスの収束がみえないなか、感染症に対する知識や対策に個人差があり、不安が多いという職員の意見が多かったことから、感染症対策・緊急時の対応等の職員研修を中心に実施し、職員の日々の悩みを少しでも改善できるように取り組んでいきたい。また職員個人の業務の幅を広げていくことで、全職員が有給休暇を最低5日以上取得し、かつ不測の事態にも対応できる環境を整えていきたい。

### 3. 業務の効率化

職員の介護ソフトやタブレット端末などの苦手意識を改善し、ICTを活用していく機会を作っていくことで、記録や情報共有を円滑に行い、業務の効率化を図っていく。

### 4. 介護報酬について

前年度は新型コロナウイルスの感染拡大（第5波・第6波）に合わせて利用者数の減少・見学者数の減少がみられた。感染拡大が減少傾向になるにつれ、利用者数の増加がみられたが、前年度下半期より理学療法士が不在となったため、個別機能訓練加算が算

定できず、収入は減少傾向となっている。今年度も新型コロナウイルスの感染状況により、利用者数の変動や営業活動の制限があると思われるが、見学や問い合わせに対して丁寧に対応し、新規利用者様を逃さないよう気を引き締めて業務にあたり、新規利用者の獲得・収入増を目指していく。

支出については、デイサービスが開設してから11年目に入っており、施設内で大型機器の修理や買い替えが必要な物が多くなってきている。今後、支出がさらに増えることが予想されるため、なるべく時期が重ならないようにすることや、できるだけ修理をすることで長く使用し、支出を抑えていきたい。

令和4年度予想利用人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	29.2	26.8	26.8	26.1	26.0	29.2	27.4 / 平均
月合計	758	697	697	704	675	760	4,291
令和4年度予想	27.0	27.0	27.0	28.0	28.0	28.0	27.5 / 平均
月合計	702	702	702	756	728	728	4,318

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	29.5	30.0	28.6	27.8	26.8	27.2	28.3 / 平均
月合計	766	781	773	696	644	735	8,686
令和4年度予想	28.0	27.0	27.0	26.0	27.0	27.0	27.1 / 平均
月合計	728	702	729	650	648	729	8,504

令和3年度2・3月は予想である。

## 令和4年度収支計画（令和3年度2・3月は予想である）

（単位：千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	6,571	6,039	6,049	5,841	5,963	6,606	37,069
令和4年度収入計画	5,636	5,636	5,636	6,108	5,863	5,863	34,742
令和3年度支出	5,007	5,701	5,906	5,374	5,266	4,648	31,902
令和4年度支出計画	4,895	4,895	5,615	4,895	5,325	4,895	30,520
令和3年度収支差額	1,564	338	143	467	697	1,958	5,167
令和4年度収支差額計画	741	741	21	1,213	538	968	4,222

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	6,685	6,374	6,276	5,788	5,508	6,278	73,978
令和4年度収入計画	5,863	5,636	5,872	5,181	5,164	5,872	68,330
令和3年度支出	5,595	5,452	5,833	4,865	5,200	5,500	64,347
令和4年度支出計画	5,115	4,895	5,395	5,115	4,895	5,165	61,100
令和3年度収支差額	1,090	922	443	923	308	778	9,631
令和4年度収支差額計画	748	741	477	66	269	707	7,230
令和3年度と令和4年度計画の収入比率						92%	
令和3年度と令和4年度計画の支出比率						95%	
令和3年度と令和4年度計画の差額比率						75%	

## 収入・支出・差額についての管理者意見

（収入について）

個別機能訓練加算が算定できないため、収入は減少する見込みである。新規利用者の獲得や理学療法士を採用していくことで、収入増加を目指していきたい。

（支出について）

前年度に比べ5%減の見込みだが、デイサービスを開設して10年以上経過しているため、施設の修繕費や送迎車両の修理などに高額な支出が必要となってくる可能性がある。

（収支差額について）

収入の減少が見込まれるため、前年度に比べ25%減となっている。

# 姫路市安室地域包括支援センター

## 令和4年度 事業計画書

令和3年4月に介護保険報酬の改定があり、予防支援については、変更となる部分は少なかったが、すべての介護サービスに対し、事業継続計画（BCP 策定）、高齢者虐待防止、などの項目が追加されており、経過措置期間内に、必要な対応を整備する必要があるため、残り2年間で体制を整えていきたい。

昨年度は新規職員が2名入り（1名増員、1名交代）、新たな視点での問題把握ができ、各職員の業務の見直し等行った。早く業務内容を覚え、慣れてもらえるよう、また、地域の方にも覚えてもらえるよう今年度も努めていきたい。

姫路市内各地区で生活支援体制検討会議の開催をすすめているが、昨年度は安室校区で第3回を開催し、今年度も前進した会議を開催したい。安室東校区は今年度も引き続き、連合自治会長への働きかけから継続していきたい。

事業所内連携については、今年度も引き続き毎日朝礼を実施し、伝達事項や研修報告、地域役員からの情報、新たな相談者・継続相談者等の報告を行うことで、事業所内での情報共有を確実に行っていく。また、月1回の職員会議を継続して行い、毎月1人ずつ担当者を決め、主催してもらうことで、各職員のスキルアップにつなげていく。また、困難事例等に関しては、ホワイトボード使用し、可視化した事例検討しており、引き続き情報の整理と課題抽出を行っていく。

研修については、研修案内を事業所内で回覧し、受講したい研修があれば受けることができるようにしている。コロナ禍の影響により、オンラインで受講できる研修も増えており、うまく取り入れながら、必要な研修を受けることで、事業所全体でのスキルアップにつなげる。

認知症カフェについては、2件が姫路市に登録しているが、1件が休止状態、もう1か所もコロナの状況をみて年1・2回の開催となっている。本格的な再開時には、支援を継続し、認知症予防、早期発見、啓発に取り組んでいく。

いきいき百歳体操については、昨年度から各グループでフレイルチェックを行い、必要に応じて運動指導士の先生に再指導を依頼した。コロナの影響で実施したグループは少なく、思うように進まなかったが、今年度も引き続き取り組んでいきたい。

介護予防については、昨年度、安室東公民館での介護予防講座を開催した。まん延防止等重点措置期間中であったため、参加者は少なかったが、参加者に好評を得て、今年度も実施することになっている。他サービス事業所と連携し、多くの地域住民が参加してもらえるよう検討していきたい。安室校区でも毎月開催協力している公民館講座「公民館の保健室」で、介護予防講座を開催でき、今年度も同様に開催予定である。

コロナ禍で実施できなかった安室地域包括支援センター圏域のサービス事業所連絡会は実施できないままとなっており、今年度はコロナの状況をみながら実施を検討していきたい。

い。

今年度も、センター便りを3ヶ月に1回、地域役員向け活動報告書を2ヶ月に1回発行し、地域包括支援センターの啓発、地域の実情把握を行うとともに、地域との連携強化に取り組んでいきたい。

※令和3年度2月3月は予想である。

※収入は姫路市からの委託料・介護報酬の収入を記載。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	3,244	3,275	3,282	3,269	3,294	3,303	19,667
令和4年度収入計画	3,292	3,305	3,307	3,302	3,312	3,322	19,840
令和3年度支出	2,280	2,254	4,702	2,531	3,930	2,624	18,321
令和4年度支出計画	2,710	2,720	5,140	2,710	4,083	2,710	20,073
令和3年度収支差額	964	1,021	-1,420	738	-636	679	1,346
令和4年度収支差額計画	582	585	-1,833	592	-771	612	-233
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	3,098	3,123	3,074	3,105	3,132	3,132	38,331
令和4年度収入計画	3,292	3,302	3,282	3,312	3,302	3,292	39,622
令和3年度支出	2,658	2,557	5,264	3,820	2,600	2,600	37,820
令和4年度支出計画	2,810	2,690	5,703	2,790	2,710	2,710	39,486
令和3年度収支差額	440	566	-2,190	-715	532	532	511
令和4年度収支差額計画	482	612	-2,421	522	592	582	136
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							103%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							104%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							
収入・支出・差額についての管理者意見							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度7月より基本職員1名増員となり、人件費が増えている。</li> <li>・収入計画では、姫路市からの委託料については、今年度の姫路市からの委託料が確定していないため、昨年と同様の金額に、経験年数5年に達する職員、9年に達する職員分の追加加算額をたしたもので目標を立てている。昨年度、1名職員が交代になったことで、経験年数加算がもらえる職員が1名減となり、委託費も減額予定。</li> <li>・支出計画については、昨年度は1月に新車を購入、令和4年度は特に高額物品購入予定はない。</li> </ul>							

# 特別養護老人ホームサンライフ土山

## 令和4年度事業計画書

昨年度は、施設内で新型コロナウイルスのクラスターが発生し、利用者様34名、職員12名が感染し、対応に追われてしまった。発生時の初期対応や施設内で蔓延した事の反省を踏まえ、マニュアル等の見直しを図り、何がどれだけ不足したかや必要な物品はどのようなものであったかを実体験を振り返りながら、今後感染拡大を防ぐための体制構築を行なっていく。また、閉塞的な環境の中での情報の発信や説明を適切に行なう。

### 1. 新型コロナ等の感染症対策の継続

前年度と同様に、衛生管理・感染症対策委員会で決まったことを確実に実施していく。受診後は、玄関で手指にアルコール消毒をおこなってからエレベーターに乗る。ドアノブは1日に1回アルコール消毒をおこない、エレベーター内の消毒はシーツ交換専門の職員が実施する。換気については、常時おこない、寒い時は暖房を使用しながら換気をする。非接触型体温計を使用し、利用者様の体温を定期的に把握する。また、職員についても、1日2回の体温測定を義務付ける。感染予防物品についても法人内で協力し不足がないようにしたい。新型コロナウイルス発生時には、市の介護保険課からN95マスクの有効性や夜間職員の配置体制についての指導があった。これらを踏まえ、感染者の業務にあたる際はN95マスクを必ず着用する。感染者発生フロアに人員を手厚く配置したり、それぞれのユニットで夜勤職員を配置する等の対応をとっていきたい。また、引き続きマニュアルの整備や研修、委員会の実施、医務と連携しての訓練を行い、感染予防・発生時の対応の強化を図りたい。

### 2. レクリエーション提供の推進

外出が行えず、大きな行事も中止となっており、利用者様の余暇時間が減少してしまった。制限がある中でおこなえるものとして、少人数でのレクリエーションをすすめた。囲碁将棋、カラオケ、園芸などの内容で、ユニットから希望者や趣味の合う方を挙げ、参加をすすめたい。

### 3. 家族への情報発信

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、家族の面会についての規制が続いている。ZOOMアプリを使用して予約を受け付け、リモートでの面会を実施しているが、利用している方に偏りが見られている。高齢の家族様や、アプリの利用をしていない方へ、利用者様の様子を伝えていく方法として、手紙を書き、さらに生活の様子を写真に撮り同封し、定期的に郵送していきたい。また、近年入所された方の家族様は施設職員の顔が

わからないことが多いと思われる。サンライフ土山、ユニット職員の紹介を顔写真入りで作成し、配布していきたい。

#### 4. 特定技能実習生の受け入れ

昨年はサンライフ土山で初めてインドネシアからの技能実習生の受け入れを行なった。引き続き、居住環境の整備や各種申請等のサポートをおこない、安心して日本語や介護技術が学べる体制を整える。今後も、国際情勢を把握しつつ特定技能実習生の受け入れをすすめる。服薬についての事項等、制度上の決まり事を遵守しながら勤務についても、日本語能力テストの合格や介護福祉士国家資格の取得が目指せ、技能の修得がおこなえるよう支援したい。

#### 5. ユニット目標

- ・2階西「職員間で報連相を行ない、利用者様・職員共に安心できる環境作りを行なう」
- ・2階東「他職種間での報告・連絡・相談を密にし、利用者様の状態や情報を共有することにより、利用者様の過ごしやすい環境整備を行う」
- ・3階西「ヒヤリハットを活用し、事故防止につなげる」
- ・4階西「申し送りを通して、職員間の連携を図り、入居者様の情報を共有する」
- ・4階東「報告・連絡・相談を密に行い、個々の介護スキルを向上させ、事故件数を減らしていく」
- ・5階西「ユニットメンバー間で主体的に情報交換を行える雰囲気づくりに努め、利用者の生活の質の向上につなげていく」
- ・5階東「報告、連絡、相談を行って職員間で情報を共有しあい、事故予防に努める」

#### 6. 収支について

入所待機者確保のために、居宅介護支援事業所やグループホームなどへ入所申込書を持参し、営業活動を行う。要介護度等の状況に応じて、同グループの通所介護や小規模多機能型居宅介護支援事業所への利用をすすめる等の相談にも応じていきたい。特養申込者が少ない状況ではあるが、ショートステイ部署とも連携をし、ロングショート候補者を増やし、ロングショートから特養入所への移行がスムーズに行えるようにする。入院者を出さないように主治医と連携を図り、稼働率98%を目指したい。

加算については、栄養マネジメント加算の廃止があり、栄養強化マネジメント加算を取得したいが、管理栄養士の配置人数が足りない為、管理栄養士か栄養士の採用を図り、介護報酬のアップに努めたい。

令和3年度 特養研修計画(特養・ショート・デイ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護・医療研修	電話対応について EPA 必須	車両操作	バイタルサインズについて	ポジショニング	リハビリ訓練の仕方	防災について
担当者	事務所	デイ	医務	厚生 PT	長井	防災委員会
介護講習	シーツ交換について	口腔体操	認知症対応	車椅子への移乗	移動介助(車いす、杖、歩行器)	食事時の姿勢と介助
担当者 (リーダー)	2階西	2階東	3階西	ショート	4階西	4階東
ユニットリーダー 対象	チームマネジメント	介護報酬について	食中毒について	尿路感染	監査 法令遵守	防災食について
担当者	有本	山口	毛利	医務	山岡 世良	毛利
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護・医療研修	AED、心肺蘇生	認知症について	腰痛予防について	看取りについて	事故について	接遇について
担当者	医務(特養)	認知症委員会	衛生管理委員会	看取り委員会	リスク委員会	接遇委員会
介護講習	身じたく	排泄介助	マスク・手袋の脱着・手洗いについて	口腔ケア・整容	・寝返り(姿勢の変更)・起き上がり	入浴介助・清拭
担当者 (リーダー)	5階西	5階東	2階西、東	3階西、東	4階西、東	5階西、東
ユニットリーダー 対象	機能訓練	認定調査	QC 活動	虐待防止	接遇	栄養
担当者	長井	世良	有本	山岡	政次	毛利

令和4年度介護状況目標

項目		令和3年度1月末状況 (入所者70名) 要介護度4.03	令和4年度3月末目標 (入所者70名)
日中オムツ使用率		21名 30%	15名 21%
入浴統計	特浴	16名 23%	15名 21%
	リフト浴	53名 77%	55名 79%
	個浴	0名 0%	0名 0%
食事形態	普通食	34名 49%	34名 49%
	刻み食	7名 10%	13名 19%
	極刻み食	16名 23%	12名 17%
	ミキサー食	12名 17%	12名 17%
	経管栄養	0名 0%	0名 0%
褥瘡者		1名	0名
身体拘束		0名	0名
看取り介護実施※		5名 38%	10名 53%

※看取り介護実施率＝看取り介護実施者/全退所  
(急死除く)

※令和3年度の実数は入院者除く

※コロナ感染の影響により大幅な数値の変化あるため、1月末の数字とする。

令和4年度収支計画 ※令和3年度2月3月は予想である。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	28,660	30,150	29,227	30,328	31,091	29,557	179,013
令和4年度収入計画	29,554	31,004	30,169	30,846	31,091	30,287	182,951
令和3年度支出	23,683	22,511	35,117	21,025	27,526	21,560	151,423
令和4年度支出計画	23,197	22,812	31,929	22,083	22,563	22,230	144,814
令和3年度収支差額	4,977	7,639	-5,890	9,303	3,565	7,997	27,590
令和4年度収支差額計画	6,357	8,192	-1,760	8,763	8,528	8,057	38,137
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	31,003	29,490	29,251	26,951	29,700	29,250	354,658
令和4年度収入計画	30,659	30,169	30,689	30,138	28,071	29,752	362,430
令和3年度支出	23,571	21,448	33,947	22,263	24,588	23,379	300,619
令和4年度支出計画	23,266	21,703	34,332	22,812	21,963	22,563	291,453
令和3年度収支差額	7,432	8,042	-4,696	4,688	5,112	5,871	54,039
令和4年度収支差額計画	7,393	8,466	-3,643	7,326	6,108	7,189	70,977
令和3年度と令和4年度計画の収入比率				102%			
令和3年度と令和4年度計画の支出比率				103%			
令和3年度と令和4年度計画の差額比率				131%			
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>収入においては、入院者が多く、稼働率98%の目標が達成できなかった。今年度は入院を少なくすることと、ショートステイとの連携を図り、退所後の空床ベッドをできるだけ少なくするなど稼働率98%を目標として収入増を見込んでいる。</p> <p>支出面においては、コロナ感染による職員不足、また感染が他フロアにも広がってしまったことにより人手が必要な状況が約1ヶ月続き、人件費が増えてしまった。</p> <p>全体としては、稼働率を上げることにより、収支差額の増加を図る。</p>							

# サンライフ土山ショートステイ

## 令和4年度事業計画書

新型コロナウイルスの蔓延により前年度の2月はショートのご利用を控えて頂いた。本年度も引き続き感染予防対策として、感染対策委員会で決まったことを職員一人ひとりが徹底することと、手洗い・消毒・うがい・マスクの着用の徹底及び不要不急の外出を控えるなど業務中・公休時に責任ある行動をとって感染防止に努めていく。

ショートステイとして、前年度は、ロングショートの定着がスムーズに進んだ月もあれば時間がかかった月もあった。稼働率が安定するようロングショート利用者の調整を行い、特養への移行もスムーズに行えるように積極的に各事業所への営業活動を行い、部屋に空きができないよう、特養相談員・看護師と連携を図りお客様確保を目指す。

また、介護経験が浅い職員の技術不足がみられるので、中堅職員含め介護講習を実施し、技術の底上げ・見つめ直すことで全体的な向上を図っていく。

ショートステイの取り組みとして入所時・退所時にボディチェック表をもとに身体の状態把握に努め、身体状況の異常の早期発見や迅速に家族様に報告できる環境に取り組んでいく。

### 1. 感染症予防

前年度は新型コロナウイルスや様々な感染症に職員・利用者様が罹患し、体調不良や発熱により職員が欠勤するケースがあった。職員が感染症を発症することによって利用者様の受け入れ制限や面会の制限が必要となり、利用者様・家族様に迷惑をかけてしまう為、本年度も感染症を出さない為に、感染症マニュアルの再確認と、周知徹底を行い、緊急時迅速に行動・対処できるようにしておく。職員においても業務中は、2回の体温測定を実施し、体調確認を行うとともに、少しでも普段と違うようであれば早退や欠勤し、受診に行き拡大しないようにする。送迎確認の電話の際、体温に異常がないか、発熱・咳症状がないかなどの確認と同居されている家族様の体調確認を行い対応する。自覚症状がある際は、ご利用を控えて頂く。施設内での流行を未然に防ぐ努力を行う。

### 2. 人材育成

- I. 技術不足の職員に対し、介護技術の内部研修を実施し、技術の底上げ・向上を図る。また、内部研修の講師を、各ユニットやユニットリーダーに担当させることで、教える側の技術や知識の向上も目指す。責任を持たせていく。
- II. 中堅職員に対し仕事のやりがい・責任感を持たせるため、施設委員やユニット内の中心的な仕事を担っていくよう、割り振りを行う。リーダー、リーダー候補職員には、ショートステイの見学対応、予約、契約業務が1人で行えるように指導を行

う。

- III. 業務において基礎である報告・連絡・相談がおろそかになってきている。出勤後はユニットのノートに必ず目を通すこと、寿の掲示板を確認することを徹底する。また、共有すべき情報はユニットノートに記入し、職員間で共有できるように指導を行う。
- IV. 職員の健康増進の為、連続して5日程度のまとまったリフレッシュ休暇が取れるよう勤務表を組む。職員の介護疲れによるストレスが利用者様に向かわないよう適切な有給の使用を促していく。
- V. 資格取得に関しては、勉強会の問題への取り組みを上司が定期的に確認するようにしていく。

### 3. 忘れ物について

アプリの効果もあり、昨年度は衣類や貴重品の忘れ物のケースは減少したが、小分けして準備して下さっている薬袋を忘れてしまっているケースが目立った。対策として、見落とさないように保管場所の徹底と退所チェック時の手順を決め改善に繋げていく。また、職員によって写真を撮影する際に色別に違いがあり、首元や衣類の裏のタグに記入されているメーカーを備考欄に記入することで業務の効率化に繋げていく。昨年同様に紛失されやすい方や収集癖のある方に対しては、家族様に同意を頂き、居室に荷物を置かず、職員が管理するようにする。

### 4. 事故の防止

昨年度事故の件数は減少したが、入所時にあった傷口が退所時には悪化しているケースもあり、報告・連絡・相談ができていなかったことがあった。昨年度同様に持ち物アプリから写真を収めボデイチェック表を導入することにより、いつできたものかの確認と経過観察ができるようにし、職員間がいつでも把握できるよう対策をとる。ボデイチェック表から早期発見し、家族様へ迅速な報告に繋がるよう強化していく。ヒヤリハットノートに関して記入されることが少なく、本当にヒヤッとしたことがないのか、ただ書いていないだけなのか分からない現状である。事故を未然に防ぐためにも、ヒヤリハットノートの有効活用を指導していく。また、事故が起きた際、事故報告書を出して終わりにするのではなく、その後しっかりと部署内で話し合い、必要に応じて他部署からの助言を頂き再発防止対策を徹底していく。事故予防に努め、事故件数を減らし、事故発生時にかかる労力の削減を目指す。

### 5. 収入・利用者様の確保

本年度も月平均稼働率98%を目標とし、利用者様の獲得に努めていく。営業時に御立・土山ショートステイのホームページを宣伝し、ネット上で空室や入所基準、利用料金が確認できることを伝えていく。入院部屋やキャンセルの部屋が出れば都度情報を更新し、

部屋に空きが出ないようにする。

短期間利用の方の予約は空き等もあるので満床になるよう各事業所への営業や現在利用してくださっているお客様のニーズによっては日程のご相談も随時実施していく。

ロング利用者に関しては、利用者様の確保が追い付かないことが何度かあり空床期間を出してしまった。ロングから特養にスムーズに移行させるためにも新規利用希望者の事前面談など、特養相談員や看護師と協力し、ベッドに空きが出ないように連携をとっていく。現在入所申込み者の事前面談が、人員不足もありなかなか行けていない現状にある。施設長・特養相談員・ショート相談員・看護師がそれぞれ手分けし面談を行なっていくことで次期特養入所者の候補（ロングショート候補）を確保し、空床が出た際にスムーズに入所が出来るよう努めていく。

令和4年度収支計画 ※令和3年度2月3月は予想である。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	3,185	4,255	4,513	4,215	3,914	3,683	23,765
令和4年度収入計画	3,925	4,066	3,925	4,066	4,066	3,925	23,973
令和3年度支出	2,845	2,753	4,669	2,667	3,299	3,219	19,452
令和4年度支出計画	2,600	2,600	4,400	2,600	2,600	2,600	17,400
令和3年度収支差額	339	1,501	-156	1,538	614	464	4,302
令和4年度収支差額計画	1,325	1,466	-475	1,466	1,466	1,325	6,573
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	4,236	3,894	4,479	3,373	2,910	3,681	46,338
令和4年度収入計画	4,066	3,925	4,066	4,066	3,776	4,066	47,938
令和3年度支出	2,852	2,641	4,571	2,664	3,150	3,050	38,380
令和4年度支出計画	2,600	2,600	4,400	2,600	2,600	2,600	34,800
令和3年度収支差額	1,383	1,253	-91	708	-240	631	7,946
令和4年度収支差額計画	1,466	1,325	-334	1,466	1,176	1,466	13,138
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							103%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							91%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							165%
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>収入においては、ロングショートの確保に時間がかかり稼働率が98%の目標に達成出来ていなかった。また、2月は新型コロナウイルスにより利用のキャンセルの為、収入が減少した。本年度は、感染対策を徹底し、稼働率は98%として収入の増加、介護報酬の加算取得を行い、収入増を見込んでいる。支出面においては、昨年度、車にかかる費用含め、日用品＜電化製品＞の修理費に費用発生したが、全体としては、稼働率を上げることにより、収支差額の増加を図る。</p>							

## 令和4年度の目標利用人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	238	314	298	303	292	283	1,728
令和4年度目標	296	305	296	305	305	296	1,803

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	300	291	322	283	229	285	3,438
令和4年度目標	305	296	305	305	286	305	3,605

\*令和3年度実績の2月・3月分は予想の数値です。

# 令和4年度 特別養護老人ホームサンライフ土山（医務）

## 事業計画書

新型コロナウイルス蔓延により、施設での集団感染が再発生しないよう感染防止と同時に、利用者様への質の高いケアの提供することが求められる。その為、本年度も、新型コロナウイルスなどの感染症対策強化と安心・安全な医療・看護提供、看護体制の充実に努めていきたい。

### 1. 新型コロナウイルス感染症対策の強化

- I. 感染委員会を主として、マニュアルの整備、発症時に備えた訓練（シミュレーション）、研修の実施。今回の集団発生の反省を行い次への感染防止に努める。
- II. 入居者、職員のワクチン接種が安全に行え、接種後の対応が迅速にできるように協力病院と密に連携を取る。感染時の治療薬の指示を受け対応す。
- III. 発症隔離対応時は、基礎疾患が悪化しないよう、重症化しないよう異常の早期発見治療をおこなう。脱水予防、誤嚥性肺炎予防、褥瘡等注意し対応していく。
- IV. 利用者、職員の熱発時には協力病院などと連携し、適宜 PCR 検査等施行してもらい、感染拡大防止に努める。
- V. ショートご利用中止となり、外部からの往診も中止となり、電話等で対応する。

### 2. 他職種と連携、協働し、安全・安心な医療・看護提供に努める

- I. 昨年度の入院延日 638 日であった。稼働率 98%の目標に達していない。4 月から嘱託医が変わるため、嘱託医と密にコミュニケーションをとっていく。新型コロナウイルス感染した時等、重症化しないよう基礎疾患が悪化しないよう点滴治療、酸素導入など入院回避にむけて取り組んでいきたい。
- II. 他職種と情報共有・チームケアを重視し、入居者の身体・精神状態や生活機能をアセスメントし、介護度の重度化しないよう、病気が悪化しないよう、また、生活機能が維持できるよう支援していく。
- III. 昨年度のターミナルでの看取りは 8 名あった。本年度も、入居者の尊厳を守り、看取り介護の充実と体制の構築を目指す。

### 3. 安全管理

- I. 事故、ヒアリハットの軽減に努める。誤服薬、転落・転倒・外傷予防、褥瘡廃止ケア、リスクマネジメント等 転倒、褥瘡リスクの高い入居者を把握し、危機意識を持つことができるように予防に努める。

#### 4. 健康管理

- I. 個々の利用者の健康を守ることに加え、施設全体の健康的で安全な環境を確保し、健康危機の対策を行う。
- II. 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎、インフルエンザの発症の予防や蔓延の防止、発症者の健康管理を行う。昨年、新型コロナウイルスの施設内集団感染が発症した。
- III. 職員の健康増進に配慮する。コロナ禍における不安や緊張等さまざまな悩みに相談できるようにする。

#### 5. 業務の簡素化・効率化をはかる

往診で臨時薬が出た際、薬局から臨時薬が届くのが遅くなることもある。薬局と調整していき、業務の効率化を図りたい。

#### 6. 人材育成・看護体制の確保

オンラインでの外部研修に積極的に参加したり、施設内研修を行い知識やスキルの向上を図っていく。

# 令和4年度特別養護老人ホームサンライフ土山(厨房)

## 事業計画書

異物混入をなくすことを前年度も目標に挙げていたが達成できなかったため、今年度も継続して「異物混入をなくす」ことを目標にする。

また、昨年度配膳ミスが2件起こってしまったことから、配膳ミスをしないこと。職員の退職が重なり足りていない状態であるため、適正人数で厨房運営が行えるよう人員を整えることを目標とする。

加えて、コロナ禍により外出ができない為、季節を感じられる食事提供を行いたい。

### I 異物混入防止について

昨年はヘアキャップの着用や、厨房着のコロコロを徹底したにもかかわらず、毛髪の混入が発生してしまった。今後も対策を継続していきたい。

その他に、冷凍野菜のビニール片の混入と木ベラの木片の混入が発生してしまった。ビニール片に関しては、マニュアルが徹底されていなかったことが原因と考えられるため、再度マニュアルの確認と徹底を図る。木ベラに関しては、使い始めて1か月と経たない新しい物が破損し、木片が混入してしまった。マニュアル作成時に想定しきれていないこともあり、危険と感じたら都度マニュアルに追加し、厨房内で情報を共有していく。

### II 配膳ミスをなくす

今までも献立表にアレルギーの方の代替食指示を空いたスペースに記載していたが、他の指示も書いていることから、見逃してしまう危険性があった。そのため、アレルギー食材には黄色のマーカーで色を付け、料理の中にアレルギー食材が含まれていることを認識しやすいようにしている。そして、代替食指示にもマーカーで色を付け、他の指示に紛れてしまわないよう目立たせ、指示を把握しやすくする。

また、代替食にも大きな字で名前を書くことで配膳時に確認しやすくし、配膳ミスをなくしたい。

### III 適正人数で厨房運営を行う

2月末に常勤の調理師が退職し、長期で働いてくれていた非常勤職員2名も体調不良のため退職予定となっており、人員が足りていない。しかし、募集をかけてもなかなか応募がなく、採用も難しい状態である。引き続き募集をかけ人員確保に努めるとともに、完全調理品等を利用しながら食事提供を行う。

また、コロナウイルス感染症を厨房に持ち込まないよう、手洗い・消毒を徹底する。そして、体調が悪い時は遠慮せず言える職場環境に努める。

# デイサービスサンライフ土山

## 令和4年度事業計画書

新型コロナウイルス感染予防対策として、デイサービスの利用控え等により、社会との接点や運動の機会が減り、身体機能の低下や認知症の症状悪化が懸念される状況にある。

昨年度に引き続き、コロナ禍でも安心してデイサービスをご利用いただけるよう、感染拡大防止に努める。また、機能訓練や頭脳訓練、レクリエーションの内容を充実させ、ご利用者自身が持つ残存機能を活かした明るく楽しいサービスを提供していくことで、心身共に健康に末永く在宅生活を続けていただけるよう支援していきたい。

### 1. 感染症対策の強化

ご利用者ご家族へ注意喚起を行うほか、現状の対策状況（館内消毒、リハビリ後・食事前・おやつ前の手指消毒、送迎時・来所時・昼食後の検温の実施、送迎車内・デイサービス室内でのマスク着用の啓発、常時換気、来所時・外出後の手洗い、うがい、体調チェック、パーテーションの設置等。職員においては、出勤前・出勤時・昼食後・退勤時の検温の実施、手洗い、うがい、更衣、マスクの着用、勤務外であっても「3密」を避ける等）や感染拡大防止に努めていることを周知し、安心してご利用いただけるよう体制を整える。また、職員及びご利用者の体調管理を行い、感染が疑われる場合には、迅速かつ適切な対応を実施し、クラスターの発生を防ぐ。レクリエーションにおいては、密を避け感染予防に努めながら、喜んでいただけるものを工夫し提供していきたい。

### 2. 自立支援に向けての取り組み

在宅生活を継続できるよう自立支援に向けた機能回復訓練を提供する。ご利用者ご家族のニーズを的確に捉え、心身機能の維持向上並びに在宅生活の維持に役立つ内容を取り入れる。機械を使った機能訓練だけでなく、毎日実施しているセラバンド体操や外出レクリエーションを通し、上下肢筋力の維持・低下予防を図る。また、洗濯物干しやおしぼり、タオルたたみ等、生活リハビリを取り入れ、日常作業への参加を促す。ご利用者同士のコミュニケーションの場として、レクリエーションを継続し、音楽や創作、行事等の活動で、脳の活性化も図っていく。楽しいADLの向上訓練を行う事により、元気に楽しく過ごしているという実感が持てるよう支援し、ご利用者ご家族の精神的・身体的負担の軽減を図っていきたい。

### 3. 介護力強化と人材育成

朝礼やミーティングを通し、ご利用者の心身の状態や変化をしっかりと話し合い、多職種間で情報を共有し、支援内容の統一を図り、全職員が同レベルのサービスを提供できるようにする。毎月の特養の研修会・勉強会に参加し、専門知識、技術の習得に努め、資質の向上を図る。資格のない職員においては、資格取得を目指し、積極的に研修や勉強会に参加する。また、事故発生時の対応方法の周知徹底、事実の報告及び原因分析を通じた再発防止、リスク委員会の設置、職員研修を継続することで、介護事故等発生の予防に努める。

### 4. 家族や関係機関との連携の強化

家族との連携については、利用前の心身状況の確認や利用中の状況報告等を連絡ノートや送迎時の口頭での申し送りで行う。（緊急時は速やかにご家族と医療機関に連絡する。）また、担当者会議にて情報を共有する。居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携においては、ご利用者やご家族から悩みや困っていること等をうかがった際には、知り得た情報を担当ケアマネージャーに報告・連絡・相談をする。月初めには利用実績、利用状況報告を行う等、日頃からよりよい信頼関係を構築し、連携の強化を図っていききたい。

### 5. 収入と利用者数の確保について

利用者数の確保については、月平均利用者数 31.0 人を目標とする。月初めに利用状況報告・利用実績報告を兼ね、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所へ出向き、パンフレットやデイ新聞にて、月間スケジュールや空き状況を伝えるだけでなく、定期的な営業活動を行い、信頼関係を築き、新規ご利用者の紹介に繋げていきたい。既存のご利用者においては、引き続き、お休みされる場合などは、別の日に振替利用していただいたり、利用追加に繋がるよう提案していく。また、収入面では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防による利用控え等により、目標が達成出来なかった。今年度はそれらを見込んだ上での新規利用者の獲得が必要となる。また、算定要件が難しく、新たな人員配置が必要な場合を除き、既存の職員で取得可能な加算については、取得していくよう努める。引き続き、デイから特養・ショートステイ・小規模多機能の利用へと繋がるよう、居宅を踏まえた連携の強化に努めていく。

令和4年度目標利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	30.6	29.8	28.5	28.6	29.2	29.8	29.4/月平均
月合計(人)	796	775	742	773	759	775	4,620
令和4年度目標	31.2	31.0	30.5	30.6	30.3	31.0	30.8/月平均
月合計(人)	811	806	793	796	818	806	4,830

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	29.9	31.5	32.7	31.4	28.5	30.5	30.1/月平均
月合計(人)	777	818	883	784	684	823	9,389
令和4年度目標	31.2	31.5	31.8	31.5	30.0	31.0	31.0/月平均
月合計(人)	811	819	859	788	720	837	9,664

\* 令和3年度実績2月3月は予想で入れています。

令和4年度収支計画 ※令和3年度2月3月は予想である。 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	5,821	5,800	5,960	5,916	5,981	5,955	35,433
令和4年度収入計画	6,195	6,152	6,037	6,066	6,224	6,137	36,811
令和3年度支出	4,144	4,112	5,174	4,251	5,471	4,606	27,758
令和4年度支出計画	4,544	4,412	5,224	4,301	5,421	4,456	28,358
令和3年度収支差額	1,677	1,688	786	1,665	510	1,349	7,675
令和4年度収支差額計画	1,651	1,740	813	1,765	803	1,681	8,453
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	6,081	6,173	7,145	6,138	5,290	5,910	72,170
令和4年度収入計画	6,195	6,245	6,552	6,019	5,480	6,373	73,675
令和3年度支出	5,487	4,614	4,967	5,264	4,292	3,948	56,330
令和4年度支出計画	5,337	4,464	4,917	4,964	4,200	3,850	56,090
令和3年度収支差額	594	1,559	2,178	874	998	1,962	15,840
令和4年度収支差額計画	858	1,781	1,635	1,055	1,280	2,523	17,585
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							102%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							100%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							111%

収入・支出・差額についての管理者意見

収入は、昨年度は引き続きコロナウィルスの影響による利用控え等があり、月平均31.0名の目標を達成出来なかった。今年度は利用人数増を図ると共に既存の職員で取得可能な加算について、取得していくよう努める。支出面は、人件費等削減を目指す。

# 令和4年度 サンライフ土山居宅介護支援事業所

## 事業計画書

### 年間目標

前年度から引き続き、新型コロナの感染が止まらない状況で、外出に不安があり、閉じこもり生活が続く事で、身体機能の低下→転倒→入院など、新型コロナ感染拡大の影響を受けた方が増えてきている。また、地域行事の中止も続いている為、介護サービスを利用し、楽しみを見つけない、体を動かしたいと前向きな方のご相談も徐々に増えている。事業所で担当している利用者様、新規利用者様が、安心して介護サービスを利用し、健康で楽しく充実した生活が続けられるようなプランが作成できるように、アセスメントやモニタリングをしっかりと行い、サービス事業所の選定を行えるように努める。

### I. 安定した収入の確保

- ・ サービス事業所・施設・病院など、感染対策で出入り制限されている場所が多い為、営業方法を工夫しながら、今後も営業活動に取り組み、新規利用者獲得に繋げる。
- ・ 新規依頼については、要支援、要介護者にかかわらず、依頼があれば受け入れを行う。
- ・ 委託認定調査については、毎月依頼が安定している。今後も、ケアマネ業務に支障が出ない範囲で、依頼を受け、収入増に繋げていく。

### II. サービスの質の向上

- ・ 医療・福祉・社会資源等、課題解決に必要と思われる情報の収集に努める。
- ・ 在宅医、調剤薬局、訪問看護との連携をメディカルケアステーションなど新しいものを活用し、密に連携が取れるように努める。
- ・ 各種研修会に参加し外部の居宅介護支援事業所のケアマネと情報交換や交流の機会を作り、知識向上に努める
- ・ 今年度の介護保険制度改正について、各サービスの加算要件など、しっかり把握する。

### III. 事業所内の連携強化

- ・ 事業所内の業務が円滑に行える様に、いつでも相談ができる環境を作る。
- ・ 事業所全体のプラン件数、個々の担当人数を全員が把握し、担当人数の偏りを無くす。

#### IV. 介護予防支援

- ・各地域包括支援センターに対し、営業活動を継続して行い、要介護者の新規依頼に繋がるように努める。
- ・委託プランについて、必要に応じて地域包括に、報告・相談を行ない利用者が自立できるプランを作成する。

※令和3年度2月3月は予想である。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	1,174	1,154	1,242	1,270	1,267	1,219	7,3268
令和4年度収入計画	1,283	1,280	1,238	1,286	1,217	1,253	7,560
令和3年度支出	1,011	941	1,773	933	1,015	1,352	7,027
令和4年度支出計画	1,059	1,059	1,659	1,059	1,059	1,059	6,954
令和3年度収支差額	163	213	-531	337	252	-133	301
令和4年度収支差額計画	224	221	-421	227	158	194	606
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	1,249	1,261	1,307	1,148	1,226	1,226	14,721
令和4年度収入計画	1,257	1,206	1,187	1,210	1,210	1,228	14,861
令和3年度支出	1,125	1,227	2,174	1,311	1,286	1,286	15,436
令和4年度支出計画	1,059	1,059	1,659	1,059	1,059	1,059	13,908
令和3年度収支差額	124	34	-867	-163	-60	-60	-691
令和4年度収支差額計画	198	147	-472	151	151	169	950
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							101%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							90%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							
収入・支出・差額についての管理者意見							
支出に関しては、人員の変更が無ければ、大幅に増える事は無いと思われる。							

# リハビリデイサービス サンライフ御立西

## 令和4年度 事業計画書

令和4年度ささゆり会経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」に基づき、御立西での人気であるレッドコードを活かして利用者様の身体機能の維持・向上を目指し在宅生活を継続できるよう支援していきたい。新型コロナウイルス感染予防対策を継続して実施し利用者様に安心して過ごして頂ける、職員が安心して働ける環境作りを行っていきたい。個別・行事レクリエーション企画のマンネリ化が見られるため新企画を発案、実施していき一人でも多くの利用者様に満足して頂ける施設を目指し、職員個々の介護に対する知識向上のために勉強会・ミニテスト等を実施し、より専門性を高めていきたい。

また、新規利用者数の確保や、現利用者の利用回数の調整・振替等を柔軟に行い収入増加できるよう営業活動を実施していく。

### 1. 利用者様のニーズに合わせた支援、各事業所・家族様との関係性

職員一人ひとりが利用者様・家族様のニーズを把握し、可能な限り希望に沿って対応できるように情報交換を密に行い、今以上に関係性を構築できるように努めたい。リハビリに特化した施設であることもあり退院後に利用するケースも増えている為、他サービス事業者等とも利用者様の利用時の状況や変化、家族関係等の情報を共有し曜日変更等の急な対応にも柔軟に対応できるように体制を整えていきたい。

### 2. 多職種連携強化によるサービスの質の向上

4月より常勤職員の入れ替わりや介護職員の補充等でチーム編成があるが、職員個々に仕事に対する姿勢の見直しを実施し、現状の業務等に無駄がないか改善・改革を実施していきたい。また理学療法士によるレッドコードをはじめ、職員一人ひとりの介護の知識向上のためのミニテストや介護技術勉強会等を定期的に行い、今以上に働きやすい現場環境を整え、利用者様によりよい1日を過ごして頂けるようにサポートできる体制を作りたい。また、一人ひとりが自身にとっての介護について意見を言えるチームとなっていけるよう多職種同士の連携を強化し、各職種が意見交換できる環境を整えていきたい。

### 3. 個別・集団レクリエーションのマンネリ化防止

御立西がオープンし8年目となり個別・集団レクリエーションがワンパターン化してしまっている状況である。コロナ禍なこともあり、おやつレク等の実施が難しい状況ではあるが、新しい職員の採用もあるため今までと違ったレクリエーションの提供を実施し、一人でも多くの利用者様に楽しんで頂けるよう利用者様の声を聞き、希望に合うものを提供できるようにしていきたい。

### 4. 収入と利用者数の確保

新規利用者の問い合わせや見学件数はあるものの、契約まで至っていない場合が多いことや入院や長期休み等が重なり月平均利用者数 19.4 人となっているため、理学療法士によるリハビリやレッドコードが利用者様より人気があることを営業活動で伝えていき新規利用者獲得に努め月平均 20 人以上を目指したい。収入の確保については、歯科衛生士の退職により、口腔ケア加算・複数ケアサービス加算が算定不可となるが、他の加算算定が可能なこともあり令和3年度より約 1,500,000 円増収予想である。口腔ケアが利用者・家族より好評なこともあり早期に歯科衛生士の採用を行い加算が算定できるよう体制を整え収入アップに繋げたい。

令和4年度予想利用人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	19.38	20.19	18.96	19.07	18.69	19.50	19.3 / 平均
月合計	507	525	494	516	488	507	3,037
令和4年度予想	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0 / 平均
月合計	520	520	520	520	540	520	3,140

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	19.92	19.65	19.89	19.80	18.40	19.50	19.4 / 平均
月合計	519	513	538	495	440	507	6,049
令和4年度予想	19.0	20.0	19.0	20.0	20.0	19.0	19.8 / 平均
月合計	494	520	513	500	480	513	6,160

※令和3年度2月3月は予想である

※令和3年度2月3月は予想である。

※報酬の収入を記載。

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	4,223	4,657	4,306	4,421	4,312	4,347	26,266
令和4年度収入計画	4,608	4,608	4,609	4,607	4,801	4,607	27,840
令和3年度支出	3,804	3,872	4,774	2,958	4,778	3,852	24,038
令和4年度支出計画	3,900	3,900	4,210	3,900	4,050	4,098	24,058
令和3年度収支差額	419	785	-468	1,433	-466	495	2,198
令和4年度収支差額計画	708	708	399	707	751	509	3,782
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	4,475	4,549	4,724	4,376	(3,895)	(4,686)	52,971
令和4年度収入計画	4,353	4,604	4,536	4,411	4,218	4,536	54,498
令和3年度支出	4,037	3,777	4,622	3,873	(3,500)	(4,150)	47,997
令和4年度支出計画	3,900	3,900	4,300	3,750	3,800	4,050	47,758
令和3年度収支差額	438	772	102	502	(395)	(567)	4,974
令和4年度収支差額計画	453	704	236	661	418	486	6,740
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							103%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							99%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							136%
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>収入については、歯科衛生士の退職により、算定できなくなる加算もあるが、令和3年度の加算状況では減収となるが、4月より事業所評価加算、6月より新たにADL維持等加算を算定予定のため増収となると予想した。支出については、派遣職員の採用により人件費上昇や修繕費等が増えることを想定し支出増加が見込まれる。差額については、派遣職員の採用により人件費上昇のため、人件費の削減、新たな加算の算定が実施出来る様に、体制を整えて行くことが課題である。</p>							

# 特別養護老人ホームサンライフ西庄

## 令和4年度 事業計画書

令和4年度経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す。」をもとに、レクリエーション・リハビリの強化を目指すと共に生産性の向上や研修の拡充・外国人労働者の教育など職員の資質向上に努めたい。

### 1. レクリエーション・リハビリの強化

全ユニットでラジオ体操や月行事などを実施し、日々のレクリエーションが実施出来るようにし、利用者様の活動量や参加率を増やし楽しみが得られるように支援していきたい。また、厚生病院PT等と連携し個別のリハビリを徹底していきたい。

### 2. 外国人労働者の教育

#### I. 介護技術の習得

外国人労働者に限らず、リーダー及びチューターが利用者毎、介助毎に「やって見せ」次に「やらせてみて」最後に両者からのチェックで合格を貰えれば、初めて、その入居者様の介助項目が一人で出来るよう指導し、安全で安心な介護提供が出来るようにする。

#### II. 生活支援の習得と外国人労働者の不安解消

介護技術以外に係る業務については、1ヶ月毎に習得して貰う項目をチェックリストとしてリーダー外国人労働者に渡し、1～2週間毎にそれぞれが評価し何が出来ていて何が出来ていないかを擦り合わせ成長を図る。また、その際に困っている事などを聞き対応していきたい。外国人労働者の不安が解消できるようにしたい。

また、リーダーやチューター以外が気になることがあれば、指導確認表を作成し指導しなければならない項目を指導するようにもする。

### 3. 生産性向上の取組み

トヨタ生産方式やQCサークル活動を通し、業務のムダ・ムラを無くしていく。また、皆が発言できる場・発言する意識を持ちユニットやフロアで協働して個々が「考える力」を持ち、時間意識とサービスの両面からサンライフ西庄のサービスをどのように行うかを決定していきたい。

### 4. 研修機会の拡充

職員の資質向上の為、オンライン研修を中心に外部研修の参加を増やしていく。外部研修参加者は責任を持って知りえた知識をフィードバックし、施設内研修で講師が出来るように研修報告書を作成する。また、それを基に内部研修を行い、施設全体の資質の向上に繋げたい。

## 5. 地域貢献

コロナの影響によりレストランテ・ヴォーノを中止することが多かったが、子どもの感染状況今年度はコロナや社会情勢を見て、感染対策を徹底し再開をしていきたい。また、地域の方や高校生ボランティアの参加が促せるよう調整をしていきたい

## 6. 収入の確保と支出

営業により入所待機者の確保及び空室を減らし入所率 98%以上を目指し収入を確保していきたいが看護体制加算Ⅱが算定出来なくなり一月約 20 万円の減収となる。支出面として、昨年度、来日できなかった外国人労働者の受入れの為、年間、特定技能実習生 840 万円（3 名）、技能実習生 280 万円（1 名）、生活準備金として二人で 60 万円また、レクリエーションの強化により年間で約 12 万円及び駐車場代に年間 12 万円の増加が見込まれる。

年間収入目標

※令和 3 年度 2 月 3 月は予想である。※収入は介護報酬の収入を記載 (単位:千円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
令和 3 年度収入	13,635	13,915	13,745	14,210	13,507	14,204	83,216
令和 4 年度収入計画	13,400	13,838	13,425	13,858	13,857	13,420	81,798
令和 3 年度支出	8,222	9,379	14,145	9,061	10,361	9,408	60,576
令和 4 年度支出計画	10,495	11,213	16,228	10,646	11,767	9,805	70,154
令和 3 年度収支差額	5,413	4,536	-400	5,149	3,146	4,796	22,640
令和 4 年度収支差額計画	2,905	2,625	-2,803	3,212	2,090	3,615	11,644
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令和 3 年度収入	13,611	13,110	14,553	13,571	12,647	13,985	164,693
令和 4 年度収入計画	13,858	13,420	13,857	13,858	12,546	13,858	163,195
令和 3 年度支出	8,563	8,590	14,933	8,790	9,359	9,044	119,855
令和 4 年度支出計画	10,313	9,751	16,505	10,194	9,976	9,726	136,619
令和 3 年度収支差額	5,048	4,520	-380	4,781	3,288	4,941	44,838
令和 4 年度収支差額計画	3,545	3,669	-2,648	3,664	2,570	4,132	26,576
令和 3 年度と令和 4 年度計画の収入比率							99%
令和 3 年度と令和 4 年度計画の支出比率							114%
令和 3 年度と令和 4 年度計画の差額比率							59%
収入・支出・差額についての管理者意見							
収入に関しては、看護体制加算Ⅱが算定出来なくなり年間約 240 万円の減収となる。支出に関しては、特定技能生や技能実習生の 4 名の職員増加により 12%増加となる為、収支差額に関しても大幅減少となる。							

# サンライフ西庄ショートステイ

## 令和4年度 事業計画書

令和4年度経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」をもとに、レクリエーション・リハビリの強化を目指すと共に生産性の向上や研修の拡充・外国人労働者の教育など職員の資質向上に努めたい。

### 1. レクリエーション・リハビリの強化

ユニットで毎日実施しているラジオ体操や月行事などを継続し、レクリエーションが充実出来るようユニットで内容を工夫していきたい。利用者様の活動量や参加率を増やし楽しみが得られるように支援していきたい。また、厚生病院PT等と連携し個別のリハビリを徹底していきたい。

### 2. 外国人労働者の教育

#### I. 介護技術の習得

外国人労働者に限らず、リーダー及びチューターが利用者毎、介助毎に「やって見せ」次に「やらせてみて」最後に両者からのチェックで合格を貰えれば、初めて、その入居者様の介助項目が一人で出来るよう指導し、安全で安心な介護提供が出来るようにする。

#### II. 生活支援の習得と外国人労働者の不安解消

介護技術以外に係る業務については、1ヶ月毎に習得して貰う項目をチェックリストとしてリーダー外国人労働者に渡し、1～2週間毎にそれぞれが評価し何が出来ていて何が出来ていないかを擦り合わせ成長を図る。また、その際に困っている事などを聞き対応していき外国人労働者の不安が解消できるようにしたい。また、リーダーやチューター以外が気になることがあれば、指導確認表を作成し指導しなければならない項目を指導するようにもする。

### 3. 生産性向上の取組み

トヨタ生産方式やQCサークル活動を通し、業務のムダ・ムラを無くしていく。また、皆が発言できる場・発言する意識を持ちユニットやフロアで協働して個々が「考える力」を持ち、時間意識とサービスの両面からサンライフ西庄のサービスをどのように行うかを決定したい。

### 4. 研修機会の拡充

職員の資質向上の為、オンライン研修を中心に外部研修の参加を増やしていく。外部研修参加者は知りえた知識をフィードバックする為、施設内研修で講師が出来るように研修報告書を作成し、それを基に内部研修を行い、施設全体の資質の向上に繋げたい。

## 5. 収入の確保と支出

現在算定している加算を継続して取得できるようにしていきたい。営業を行い次のロングショート待機者の確保及び空床を減らすことで入所率 98%以上を目指し収入を確保したい。支出面として昨年度より増加する分については、日中のケアを充実させるために、日勤勤務者を作っていく為、外国人労働者の受入れを実施するので、年間、特定技能実習生 280 万円、初めに二人で一部屋に住んで頂き、生活準備金として 30 万円及び職員の昇給により年間 54 万円の人件費等が発生する。また、看護職等の紹介料 17 万円の発生が予想される為、人件費の増加が見込まれる。

その他、設備投資費として腰痛ベルトの貸与に 1 万円、駐車場代として年間 6 万円の増加が見込まれる。

### 年間収入目標

※令和 3 年度 2 月 3 月は予想である。※収入は介護報酬の収入を記載

(単位:千円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
令和 3 年度収入	3,812	3,921	3,361	4,410	3,900	4,008	23,412
令和 4 年度収入計画	3,799	3,924	3,804	3,929	3,929	3,804	23,189
令和 3 年度支出	2,509	2,851	4,297	2,771	2,502	2,431	17,361
令和 4 年度支出計画	2,809	2,921	4,557	2,981	2,824	2,759	18,851
令和 3 年度収支差額	1,303	1,070	-936	1,639	1,398	1,577	6,051
令和 4 年度収支差額計画	990	1,003	-753	948	1,105	1,045	4,338
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令和 3 年度収入	4,063	3,286	4,213	3,588	3,497	3,827	45,886
令和 4 年度収入計画	3,929	3,804	3,929	3,929	3,558	3,929	46,267
令和 3 年度支出	2,561	2,592	4,584	2,603	2,713	2,616	35,030
令和 4 年度支出計画	2,819	2,809	4,644	2,790	2,889	2,826	37,628
令和 3 年度収支差額	1,502	694	-371	985	784	1211	10,856
令和 4 年度収支差額計画	1,110	995	-715	1,139	669	1,103	8,639
令和 3 年度と令和 4 年度計画の収入比率							101%
令和 3 年度と令和 4 年度計画の支出比率							107%
令和 3 年度と令和 4 年度計画の差額比率							80%
収入・支出・差額についての管理者意見							
収入に関しては、現在算定している内容と変わらない為、増収は見込めない。							
支出に関しては、特定技能生の増加、紹介料や設備投資費用の増加も見込まれ支出が増えると考えられる。							

# グループホームサンライフ西庄

## 令和4年度 事業計画書

令和4年度ささゆり会経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」をもとに、五感を刺激し脳の活性化により認知症状の緩和を図る。その人らしく楽しくかつ、心地よい生活を支援する。

### 1. 入居者様や家族様の思いを知る

本人の思いを家族様と協働で支援していく。また、コロナ禍により家族様との交流機会が少なく、施設での様子を知っていただくために事業所だよりを発信していく。

#### I 日常生活において五感を刺激する

毎日の体操に加え、個々の能力に合った「家事援助」の役割を日課に取り入れる。ユニット交流を行い、入居者様同士の顔馴染みの関係を作り、安心して楽しく過ごして頂けるよう支援する。

#### II 多様なレクリエーションを行う

ゲームや歌、体操、壁面工作、手芸や編み物などの集団や個別レクリエーションに加え、入居者様の希望に添った昼食レクリエーションや外出の機会を増やし五感を刺激して認知症の進行緩和となるよう支援する。

### 2. 感染症対策の強化

手洗い・消毒を徹底し、感染予防に繋げる。感染症マニュアルを全職員が周知徹底する。感染発生時には速やかに対応できるよう、業務継続ガイドラインの策定や研修、訓練の実地を行い、都度見直しをする。また、平時より必要物品を補充して備えておく。

### 3. 外国人実習生の受け入れ

職員全員で実習生の受け入れ態勢を整える。月々のチェックリストを見て、介護技術や認知症ケアがスムーズに行えるように、評価・指導していく。

### 4. サービスの質の向上と人財育成

#### I 施設内外の研修の参加及び資格取得

西庄施設内研修や外部研修により得た知識を職員間で共有し、サービスの質の向上を目指す。

#### II 働きやすい環境作り

年間を通して「職場の活性化」に取り組む。5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）+

安全活動により「問題の見える化」を実現して職場のムリ・ムラ・ムダを見つけだしP D C Aを実践する。職員のモチベーションや現場力の維持向上、改善提案が出てくることで、事業所の活性化に繋げる。

## 5. 収入の確保と支出

満床状態を維持し、年間平均稼働率98%以上を目標として安定した収入を確保する。支出に関しては、感染症対策費や外国人実習生への投資の出費が大きく占められる。人件費は非常勤職員の確保や必要な時間帯の人員補充により出費の増加を抑えたい。

年間収入目標

※令和3年度2月3月は予想である。※収入は介護報酬の収入を記載

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	7,041	7,747	7,134	7,831	7,813	7,648	45,214
令和4年度収入計画	7,579	7,906	7,578	7,914	7,840	7,685	46,502
令和3年度支出	5,755	5,266	7,747	5,847	5,231	5,065	34,911
令和4年度支出計画	6,272	7,063	8,972	6,421	6,119	6,128	40,975
令和3年度収支差額	1,286	2,481	-613	1,984	2,582	2,583	10,303
令和4年度収支差額計画	1,307	843	-1,394	1,493	1,721	1,557	5,527
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	7,368	8,125	7,845	7,965	6,970	7,780	91,267
令和4年度収入計画	7,832	7,657	7,839	7,956	7,128	7,918	92,832
令和3年度支出	5,430	5,364	7,918	4,895	5,330	5,330	69,178
令和4年度支出計画	6,290	6,100	8,767	6,236	6,137	6,098	80,604
令和3年度収支差額	1,938	2,761	-73	3,070	1,640	2,450	22,089
令和4年度収支差額計画	1,542	1,557	-928	1,720	991	1,820	12,228
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							101%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							117%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							55%
収入・支出・差額についての管理者意見							
収入は補助金(約94万円)による増収のみである。令和3年度の稼働率は98.6%であった。今後も維持して安定した収入に繋げる。支出は外国人技能実習生による人件費と非常勤職員の採用による紹介料の発生が考えられる。また、感染症対策費、研修費なども増えることが予想される。非常勤職員の必要な時間帯の人員補充により出費の増加を抑える。							

## 令和4年度 特別養護老人ホームサンライフ西庄 医務

### 事業計画書

依然として終息の目処が立っていない新型コロナウイルスで多くの高齢者施設で集団感染が起こっている。入院制限により医療現場で治療が受けられないことで利用者様の重症化が懸念される。施設でできることは感染を持ち込まない事、広げない事をモットーに職員一人一人が正しい対応で感染対策を行うこと。また、発生に備えた準備を十分に行い非常時にもBCPの活用等で早期に業務を回復させ、利用者様の健康を守っていくことが必要である。

施設が4年目となり、利用者様のさらなる高齢化が進んでいる。徐々にADLが低下し、看取りの時期になっていく方々が増えていく中で、一人でも多くの利用者様、ご家族様に「ここで過ごせて良かった」と思ってもらえるよう看取りケアの充実を目指す。

#### 1. 感染症対策に関する研修の実施、訓練（シミュレーション）、ガイドラインの作成

新型コロナウイルスの発生時に備えて、施設内における新型コロナウイルス感染症に関するBCPを見直していく。BCPに関しては作成して終わりではなく、何度も見直し修正をしていくことが必要である。昨年度は2度、コロナによる感染対策（ゾーニング等）が必要な機会があった。その際の反省をもとに修正や見直しをしていくことが必要である。また実際の対応方法についてシミュレーションを繰り返し行い、いつでも誰であっても対応できるよう、職員の感染症に対する知識や行動力を向上させることが集団感染を防ぐためには必要であるため、感染対策委員会の充実、研修の実施等、看護師が中心となって進めていく。

#### 2. 心療内科 往診の充実

昨年度よりおくの心療内科による訪問診療が開始されている。現在、利用者様3名が往診を受けられている。主な診療内容は不眠、認知症症状のコントロール等である。夜間の睡眠困難は日中の活動意欲を低下させること、また転倒リスク等も高まる問題があり1日のリズムを整えていく事は高齢者にとって非常に重要である。また、認知症の症状も様々ではあるが、不眠や食事の拒否等、生活へ影響している場合や、他者への暴言や暴力など利用者様が穏やかに過ごすことが困難な事例も多々ある。ただ眠らすだけではなく、そのような行動に対してどのように関わるのが良いのか、関係性の築き方や使用する薬剤の適性など医師の診察や助言を受けて、施設で認知症へのケアを向上させていくことが必要である。

### 3. 看取りへの対応の充実

徐々に食事摂取が困難になられたり、肺炎等の感染を繰り返され日常生活を平穩に過ごされることが難しくなっている利用者様が増えている。年齢的にもかなりの高齢化が進み、生活における介助も多くなっている。当施設で、最期の看取り時期を過ごされる利用者様が、どのように過ごしていきたいか。直接、利用者様から語られることは多くはないが、今までの人生を支えてこられたご家族様や、普段の生活を良く知る介護職らと「利用者様がよりよく過ごして頂くためには何ができるか」をよくディスカッションし、医療面での助言や支援を行い、利用者様が最期までその人らしく過ごして頂けるよう関わっていく。

### 4. 事故防止への取り組み

内服薬の誤薬による事故の防止のため、看護師による薬剤のダブルチェックを行っている。他院の処方管理、臨時薬や中止薬の指示受けを確実にし、思い込みの行動や他人任せの行動ではなく、責任をもって薬剤を扱う。誰が見ても分かりやすく掲示するなど事故防止への取り組みを確実にやっていく。また、直接服薬介助に当たる介護職からのヒヤリハット等にも積極的に情報収集し、薬剤の正しい管理や服薬方法が順守できるよう介入していく。

### 5. 日常生活機能訓練の強化

今年度の経営スローガンである「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂くための介護支援を目指す」をもち、外部理学療法士、介護士、看護師で連携し、入居者様一人一人に合った機能訓練を計画しADLの低下を防止する。明らか機能の回復は難しいことが多いが、今の状態をできるだけ長く維持していくためには、生活の中で取り入れることができる方法で利用者様の機能の維持を目指していく。

そのためにも、週1回の理学療法士の訪問時に、看護師だけでなく介護職にも介入してもらい、具体的な方法やアドバイスを助言いただき、実践していける様、協力していく。

### 6. 職員の健康管理への取り組み

定期健康診断の連絡、調整をスムーズに行い、全職員が適切に健康診断を受けることができるようにする。また健診結果の状況を把握し、経過フォローが必要な職員が受診をできているのか。仕事に従事するうえで支障はないのかコミュニケーションを図っていき、職員一人一人が自分の健康意識を高めてもらえるよう働きかける。

# 令和4年度 特別養護老人ホームサンライフ西庄(厨房)

## 事業計画書

今年度は管理栄養士の入れ替わりがあるため、効率よく引継ぎを行っていく。

そして昨年度は入居者様の入退院等の連絡漏れを防ぐため食事伝票を作成し、徐々に定着している。ユニットにより定着率に差があるので、その都度提出を促すことでさらに定着させていきたい。

### 1. 人材の定着・育成

今年度も、業務に関する変更事項を職員が忘れないように、定着するまで目の届く場所に付箋で貼っておくなどの工夫をする。「言わなくても分かっているであろう、してくれるであろう」と思い込まず、場面場面で注意を促す言葉がけを心掛ける。

そして、職員同士がコミュニケーションをとり、質問や相談しやすい雰囲気づくりを心掛けることで確認不足による間違いを未然に防ぐ。

そして引き続き、業務が効率よく回るよう、従来のやり方にこだわらず職員間で新しい意見を取り入れ見直しを行い改善、無駄を省いていく。

### 2. 献立の充実

昨年度は計10回の行事食（正月・節分・バレンタイン・ひな祭り・子供の日・七夕・敬老の日・ハロウィン・クリスマス・大晦日）を取り入れた。コロナで外出・外食ができない状況の中で、いかにして季節を感じて頂けるのかを考え、普段の食事時の様子や給食委員会において、好評なメニューや食べにくいものを聞き取り、献立に反映させる。

盛り付けに関して、フロア配膳後の盛り付けが雑であったり食器の置く位置がバラバラなことがあるため、定期的にチェックを行い給食委員会でも確認をする。利用者様の一番の楽しみは食事である。「味が美味しい」だけではなく、「見るからに美味しそう」と思ってもらえるように、見た目や彩りを意識した食事を提供していく。

食材費に関して、在庫食材を把握し管理することで、期限切れや傷みによる廃棄ゼロを目指す。

そして、発注に関しては、昨年度は新たな業者と取引を開始することで食材のコストダウンを実現させることができた。

今年度も、各業者から随時相見積もりを取り、良い品をより安い業者から仕入れる等の工夫を行い、質を落とすことなく食材費を低く抑えることができるように無駄のないよう管理する。

### 3. 衛生管理

今年度も引き続き大量調理施設衛生管理マニュアルを把握し、マニュアルに沿って現在の衛生状態の見直しを随時行う。特に、清潔・不潔の区別、器具の使い分け、衛生的な手洗いの方法について確認する機会を設ける。また、国内で発生した食中毒の情報を収集しそれを共有することで、衛生管理に対する意識の向上を図る。

異物混入に関して、昨年度は報告がなかった。特に魚をほぐす際は骨を見逃さないよう各職員が意識をもっていたので混入を防ぐことができた。今年度も異物混入ゼロを維持する。

そして、昨年度は厨房の新型コロナウイルス感染症発生時の対応マニュアルを作成した。引き続き、各自が危機感を持つよう・体調管理に気を配るよう働きかけを行う。

### 4. 栄養ケアマネジメントの充実

昨年度より、栄養マネジメント加算が廃止され、新たに栄養マネジメント強化加算が算定されたが、厨房業務と事務業務に追われ、きめ細かな栄養ケアマネジメントを行うことができなかった。

今年度は、栄養ケアマネジメントの時間を充分にとれるよう、事務業務の効率化を図る。そして介護職・医務と連携をとり、より良いケアを目指す。

また、看取り期への対応に係る加算又は基本報酬の算定要件において、関与する専門職として管理栄養士が明記され、今後さらに多職種連携における管理栄養士の関与の強化が求められている。褥瘡の発生や改善は栄養と大きく関わるため、幅広い知識を得てそれを発信していくよう努める。

### 5. 食事形態

今年度も普通食維持を目標とする。令和4年2月28日時点で普通食は13名（29名中）である。

すべての食事の形態アップは難しくても、「おやつだけ普通食」や「やわらかいものだけ極刻み→刻み」など、食べれるものだけでも形態をアップする対応を行うことで、食事の満足度向上に繋げている。

そして、体調不良の際は一時的に形態を下げてでも食べられる物を食べて頂き経口摂取の維持を図り、体調が回復した時には再度食事形態を検討する。さらに、ターミナル期の方には、本人の好まれるもの、摂取しやすいものを提供し、最期まで少しでも口から摂取していただくよう努める。

### 6. 子供食堂の充実

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、12月・1月の2回の開催であった。今年度も引き続き、開催される際は3密を防ぎ感染防止対策を徹底する。

そしてメニューに関しては、希望をとるなどし、カレーだけではなくいろいろなメニューを取り入れ満足度向上に努める。

# 小規模多機能ホームサンライフ岡田

## 令和4年度 事業計画書

小規模多機能ホームサンライフ岡田がオープンし、1年6か月が経過した。職員、利用者様ともに施設に馴染み、利用者様個々人の身体状況・家庭状況に合わせた介護サービスを提供出来るようになってきたと感じる。今年の「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」という法人目標にあるように、利用者様が住み慣れた自宅や地域で健康に生活が継続できるよう、通い・宿泊・訪問を柔軟に組み合わせたサービスを提供していく。初期の頃は宿泊希望の方が多かったが、最近では通い・宿泊・訪問全てのサービスが満遍なく必要とされている状況になってきており、職員に求められる技術や知識、そして負担も増えてきている。外部・内部の研修に参加する機会を設け、知識や技術の向上を目指すとともに、有給や生活支援休暇の取りやすい環境を作り職員の負担を減らしていきたい。

### 1. 個人に応じた利用計画作成

利用者様が在宅での生活が継続できるよう、個々の特性に応じた小規模多機能型居宅介護計画を作成し、支援の提供を行う。支援を通して利用者様、職員間の信頼関係を深めるとともに、家族様の協力も得ながら、利用者様に必要な、通い、宿泊、訪問サービスを提供していく。

### 2. 人材育成

I. 通い・宿泊・訪問とサービス提供内容が幅広く、柔軟な対応が求められる機会も多いため、施設内部で研修を行い、自分たちが知りたい知識や技術を習得していく。月々の担当を決め、責任をもって研修を行なう。また、全職員が1年に1回は外部研修に参加できるよう調整を行なう。

II. 業務において基礎である報告・連絡・相談がうまく機能せず、全職員に伝わらないことがある。出勤後職員連絡ノートや利用者様ノートに必ず目を通すこと、事務連絡掲示板を確認することを徹底する。申し送りに関しては、送迎や、訪問、入浴などで職員が集れず、開催出来ていないこともあるため、職員が集まりやすい10:00と14:00にきちんと開催し、参加できない職員は各自で申し送りの紙を確認することを徹底する。

### 3. 事故の防止

服薬を忘れていたり、飲みこぼしがあったりと服薬のミスが度々見られる。利用者様の健

康や家族様との信頼関係が失われる原因にもなるため、再度マニュアルを見直し、再発防止に努めていく。また、パソコン入力や、食事準備などに集中してしまい、利用者様の見守りが出来ていないことが多いため、職員の意識の改善を行い、事故予防に力を入れていく。

#### 4. 忘れ物防止

荷物チェックアプリの使用や、荷物の置き場所の徹底等により、荷物の返却忘れや荷物の混同などは減少してきている。まだ0件にはなっていない為、引き続きアプリ等を使用し荷物の管理の徹底を行っていく。

#### 5. 感染症予防

昨年度と同様に、新型コロナウイルスを含めた感染症対策として、うがい・手洗い・更衣・マスクの着用、消毒を継続して行っていく。送迎時の体温測定や、毎日10時の体温測定を行ない、異常の早期発見に繋げていく。また、発熱症状のある方などは、家族様、看護師、主治医と相談しながら早期の対応を行っていく。熱があっても一人暮らしの方等の場合は、訪問に行かなければならないこともあるため、職員の感染症予防意識を高めていくとともに、訪問時の感染予防用品等も充足させておく。

#### 6. 収入・利用者様の確保

今年度は登録定員25名を目標とし、利用者様の獲得に努めていく。小規模多機能ホームのことをよく知らない方も非常に多いため、営業活動や広告を出し認知度を上げ、利用者様の増加につなげていきたい。同建物内の居宅介護支援事業所やデイサービスとも連携を取りながら、新規の利用者様の獲得を目指していく。また、収益増加として、介護福祉士の取得者の割合を増やし、サービス提供加算の取得を目指す。

R4年度サンライフ岡田研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
介護職員対象	記録について	報告・連絡・相談について	高齢者に多い疾患について	認知症について	認知症の種類について	認知症のケアについて
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護職員対象	感染症対策の基礎知識について	プライバシー保護について	事故防止とヒヤリハットについて	事故対応の心構えについて	身体拘束について	虐待について

## R4 年度収支計画

※令和3年度2月3月は予想である。収入は介護報酬の収入を記載。 単位（千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	3,787	4,137	4,183	5,387	4,785	4,854	27,133
令和4年度収入計画	5,382	5,630	5,512	5,740	5,750	5,622	33,636
令和3年度支出	4,220	4,519	6,840	4,379	5,462	5,673	31,093
令和4年度支出計画	4,563	4,713	7,031	4,713	4,713	4,563	30,296
令和3年度収支差額	-433	-382	-2,657	1,008	-677	-819	-3,960
令和4年度収支差額計画	819	917	-1,519	1,027	1,037	1,059	3,340
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	4,889	5,179	4,676	5,084	5,048	5,000	57,009
令和4年度収入計画	5,795	5,622	5,795	5,795	5,250	5,795	67,688
令和3年度支出	4,748	4,324	7,393	4,472	4,472	4,472	60,974
令和4年度支出計画	4,713	4,563	7,031	4,731	4,315	4,713	60,344
令和3年度収支差額	141	855	-2,717	612	576	528	-3,965
令和4年度収支差額計画	1,082	1,059	-1,236	1,082	935	1,082	7,344
令和3年度と令和4年度計画の収入比率				119%			
令和3年度と令和4年度計画の支出比率				99%			
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>昨年よりも利用人数が増えている分、収入の増加を見込んでいる。今後の収入増加には利用者様を増やすことが一番だが、登録定員29名に対し、1日の通いの定員18名、宿泊定員9名と枠が決まっており、現在1日当たりの利用者数が枠の上限に近くなっている為、これ以上利用者様を増やそうとすると訪問希望の方を中心に増やす必要がある。しかし訪問を増やしすぎると現場が回らなくなるため調整が難しい現状となっている。利用者数以外の収入増加を目指すには、要介護度3以上の方に多く利用して頂くこと、加算を取得していくことが必要となってくる。</p> <p>支出としては、人件費等を含め昨年とは大きく変わらない見込みである。</p>							

# デイサービスサンライフ岡田

## 令和4年度事業計画書

開設してから1年が経過し、利用者数が増えつつある。岡田デイサービスの特色として、棒体操やボール体操、買い物外出があるが、まだまだ、認知度は高くないため、地域の方やケアマネジャーに周知していただけるよう営業活動を今後も継続して行っていきたい。

また、利用者人数の増加により、業務の流れや職員の動きも日々変わってきており、利用者様が過ごしやすい環境作りや職員が働きやすい職場作りを考えながら現状の把握に努め、環境改善を図っていきたい。

### 1. サービス内容の向上

コロナ禍において、利用者様は家に閉じこもりがちとなり、運動不足を心配されている声をよく聞く。午前、午後に体操を行うことで、運動不足の解消に努め、今後もデイサービスで運動する機会を確保していきたい。

他にも、買い物外出と景色を観る外出や施設見学をそれぞれ隔週で行い、一人暮らしの方への買い物支援に繋げることや、楽しみを持っていただけるような企画を計画していく。また、施設内でのレクリエーションにおいては、密を避け感染予防に努めながら、皆さんで楽しめる物を提供していきたい。

### 2. 業務の改善について

利用者様の人数増加に伴い、フロアでの座席の配置や職員の業務分担や一日の流れを定期的に見直している。現在勤めている職員の人数で負担が偏らないよう配慮しながら業務を分担して行っていきたい。また、必要に応じて職員募集を行っていく。未経験の職員もいるため、定期的に介護技術の研修や確認を行い、利用者様に満足していただけるサービスが提供できるよう努める。

### 3. 収入と利用者数の確保について

徐々に登録者数が増加してきており、曜日別の登録者数については、令和4年3月時点で平均15名となっている。令和4年4月には定員を20名から25名に変更し、更なる利用人数の増加に対応できる体制を整えていく。

令和4年度末には平均利用人数を25名以上、定員を30名に変更することを目標に、今後も周辺地域へのポスティングやケアマネジャーへの営業活動を行い、新規利用者の確保、収入増を目指していく。

令和4年度目標利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度実績	3.7	4.5	6.0	7.1	7.2	7.6	6.01/月平均
月合計(人)	98	118	157	193	188	199	953
令和4年度目標	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	17.5/月平均
月合計(人)	390	416	442	486	494	520	2,748

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度実績	9.4	11.6	13.7	14.3	13.0	14.0	9.3/月平均
月合計(人)	245	302	372	358	312	378	2,920
令和4年度目標	21.0	22.0	22.5	23.0	24.5	25.0	20.2/月平均
月合計(人)	546	572	607.5	575	588	675	6,311.5

\* 令和3年度実績2月3月は予想で入れています。

令和4年度収支計画 ※令和3年度2月3月は予想である。 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入	841	903	1,105	1,435	1,356	1,753	7,393
令和4年度収入計画	3,191	3,378	3,575	3,929	3,959	4,184	22,216
令和3年度支出	2,762	2,749	4,163	3,062	3,704	4,147	20,587
令和4年度支出計画	3,450	3,450	4,577	3,450	3,690	3,490	22,107
令和3年度収支差額	-1,921	-1,846	-3,058	-1,627	-2,348	-2,394	-13,194
令和4年度収支差額計画	-259	-72	-1,002	479	269	694	109
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入	1,804	2,647	3,191	3,052	2,521	3,450	24,058
令和4年度収入計画	4,369	4,593	4,897	4,594	4,705	5,500	50,874
令和3年度支出	3,218	2,980	4,591	3,261	3,451	3,350	41,438
令和4年度支出計画	3,690	3,490	4,859	3,590	3,410	3,680	44,826
令和3年度収支差額	-1,414	-333	-1,401	-209	-930	-100	-16,180
令和4年度収支差額計画	679	1,103	38	1,004	1,295	1,820	6,048
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							211%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							108%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							

収入・支出・差額についての管理者意見

収入については、平均利用人数を毎月増やせるよう努力し、大幅な収入増を目指す。  
 支出については、利用人数の増加に伴い、人員の増員が予想される為、支出増となっている。  
 差額については、利用人数の増加に伴う収入増を見込み、前年度よりもプラスを予想している。

# サンライフ岡田居宅介護支援事業所

## 令和4年度 事業計画書

### 年間目標

R4年1月に事業所を開設した。居宅介護支援事業所の利用者の確保、サンライフ岡田デイサービスの利用者増を目標とする。

経営スローガン「足腰・頭を鍛え、いつまでも健康で楽しく暮らして頂く為の介護支援を目指す」に対し、各サービスの特色を詳しく説明し、利用者が希望する生活に少しでも近づけられるように支援することを目標とする。

収入については、常勤2名で開始し、前事業所から引き続きの利用者様も人数は少ないが担当する。開設当初から要支援者の委託契約の紹介はいただいている。引き続き、地域包括支援センターや病院などに営業を行い、利用者の増加を目指す。

#### 1. 担当利用者・収入の確保

2名体制で開始し、前事業所から引き続きの利用者数を考えても担当人数には十分な余裕がある。担当利用者、収入を確保するため、営業活動を行う。

#### 2. サービスの質の向上

サービスの質の向上のため、要件をみたした職員から順次主任ケアマネジャーを取得するよう心がける。

また、援助を進めていくにあたり困難なケースや問題点がでてきた時等、事業所内で話し合いを行う場をつくり、また、各地域包括支援センターと連携を取り、情報共有を行うことで精神面でのケアと援助がスムーズに行えるよう努める。研修会等にも積極的に参加するよう心がけ最新情報等は事業所内で共有できるよう情報交換共有を行う。

#### 3. 有給休暇の取得について

年次有給休暇の5日取得に加えて休みがとりやすい環境を整えることで、リフレッシュできる機会をもつ。きちんと取得するため定期的に声掛けを行う。

#### 4. 特定事業所集中減算の回避

訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、福祉用具貸与のみが対象。減算にならないように、他事業所の紹介も行う。減算対象にならないよう注意し各事業所からの情報等を収集しておき、紹介できるようにしておく。

## 5. 介護予防支援

地域包括支援センターとの関係構築のため、要支援の依頼があれば積極的に対応し、要介護者の新規依頼にも繋げたい。多くの地域包括支援センターとの連携を行い新規獲得に努める。

## 6. 年間収支の予測

※収入は介護報酬の収入を記載

※令和3年度2月3月は予想である。

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入							
令和4年度収入計画	550	580	600	620	620	640	3,610
令和3年度支出							
令和4年度支出計画	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	7,000
令和3年度収支差額							
令和4年度収支差額計画	-450	-420	-1,400	-380	-380	-360	-3,390
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入				475	460	510	1,445
令和4年度収入計画	640	680	680	700	700	700	7,710
令和3年度支出				3,043	1,000	1,000	5,043
令和4年度支出計画	1,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	14,000
令和3年度収支差額				-2,568	-540	-490	-3,598
令和4年度収支差額計画	-360	-320	-1,320	-300	-300	-300	-6,290
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							%
令和3年度と令和4年度計画の差額比率							%
<p>収入・支出・差額についての管理者意見</p> <p>収入は、担当人数を徐々に増やすが、一気に増えない。在宅の方の認定調査を2人で20名回っているが、1件当たりの金額少なく収入増には繋がらない。</p> <p>支出は、人件費が多くを占めている。</p> <p>差額は、収入が増加しても支出が多く、マイナスとなる。</p>							

# 特別養護老人ホームサンライフ魚崎

## 令和4年度事業計画書

今年度は「足腰頭を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう！」を経営スローガンに掲げ、ラジオ体操・ストレッチ体操・日光浴・軽作業等を日課に取り入れ、入居者様の拘縮予防、健康維持に努めていきたい。また、前年度と同様にコロナ感染症予防を継続し、日々の健康観察を行なうことで、体調変化の早期発見に努めていきたい。施設内設備を整え、入居者様の安全安心を確保しつつ、職員の身体的、精神的負担の軽減に努めていきたい。

### 1. 足腰頭を鍛えて、元気に楽しく生活ができる取組

#### I. 入居者様が楽しく元気に生活が送れる環境を作る

- ①入居者様の ADL 状態に応じた運動を実践する。午前（10：00）に日勤職員及び早出職員が中心となりラジオ体操を行い、午後の入浴後（15:30～16:00）にストレッチ体操又は軽作業（洗濯物たたみや袋作り等）を毎日の日課に取り入れ、身体を動かす機会を設ける。
- ②自分で身体を動かす事ができない入居者様が増えており、身体の拘縮を予防する為、基本的な介護方法（声掛け、ポジショニング、ボディメカニクス）を職員一人ひとりが意識し、実践していく。介護技術、知識の取得においては職員会議を開催し、研修を企画する。
- ③特養 B ユニットにおいて、感染症対策の為、一部生活区域を設定し、過ごして頂いている。閉鎖的な環境が続いている為、週に2回以上の日光浴又は散歩を企画し、外気に触れながら、気分転換が図れる機会を設ける。
- ④感染状況（対面での面会が再開され、なおかつ新規感染者数が減っている状況）に応じ、感染予防対策（換気の徹底、座席配置等）を強化して行い、入居者様が楽しみにしている、音楽療法やボランティアの受け入れを再開していきたい。

#### II. 職員の意識改革

- ①入居者様一人ひとりに対して、毎日を楽しく、元気に過ごして頂く為には何が必要かを考え、介護を実践していく。「できることから少しずつ始める」という意識を職員間の共通理解として定着させたい。
- ②業務進行において、午前と午後に取り入れる日課（ラジオ体操、ストレッチ体操、日光浴、軽作業等）を実践する時間を確保する為、定期的に業務の見直しを行う。新しく取り入れる日課の優先度を上げて、毎日実施し、習慣化できるように、タイムスケジュールに組み込む。
- ③入居者様、家族様、職員間で生じるハラスメントケースを想定し、職員がハ

ラスメントについて正しく理解する為、職員会議等で研修を企画する。職員がハラスメントに対しての意識を高め、働きやすい職場環境を構築していく。

### Ⅲ. 残存能力を活かした介護の実践

- ①入居者様が身体を動かす機会を設ける為、必要以上の介助にならないように意識する。入居者様個々に自分でできることを自分で行って頂くため、食事介助・移乗及び移動介助、更衣介助等、担当職員が中心となり、担当入居者様のケア方法の発信を行う。

### Ⅳ. 他職種との連携強化

- ①看護師・介護リーダー・中堅職員・相談員が月1回(ケース会議終了後【毎月3～4回開催】又は口腔ケアカンファレンス終了後【奇数月の第2週の木曜日】)、話し合いの場を設け、現在の介護・看護の状態の状態を報告する機会を設ける。特に入居者様の身体的状況の情報を共有し、拘縮予防の取り組み、ADL低下の予防に繋げる。
- ②3ヶ月に1回(5月、8月、11月、2月の第4週の木曜日に開催)職員会議を行い、感染症対策、ケアの方法(特に拘縮予防)、業務改善等の意見交換を行い、職員間の情報共有を行う。職員の資質向上のため、研修を企画し、ケアの質を高める取り組みを行う。

## 2. 感染症予防対策及び災害発生時における事業継続の取り組み

- ①大規模な感染症や大災害が発生した場合においても、事業継続(BCP策定中)が行える体制を作り、入居者様の健康や生命が保たれるように安全を確保し、必要な介護サービスを提供する。
- ②コロナウィルスが施設内で発生した場合を想定した、感染症対策訓練を3ヶ月に1回実施する。(防護服の着脱方法、ゾーニングを実施する。)
- ③入居者様の健康観察(毎日の検温)を継続し、体調変化の早期発見に努める。
- ④災害時の避難訓練(火災、水害又は地震等)、基幹福祉避難所開設訓練を行い、初動対応、備蓄品管理場所の確認、避難所の設営等、災害時のシミュレーションを行う。

## 3. 経営の安定化への取り組み

### Ⅰ. 年間稼働率目標値99%以上への取り組み

(稼働率%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度 (実績)	99.4	99.6	98.4	98.6	97.2	99.3	98.3	98.6	100	100	98.8	99	98.9
令和4年度 (目標)	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99	99

※令和2年度2月・3月は実績見込み

- ①ショートステイと連携し、ロングショート利用者数 10 名を定数として、(特養入所待機者 4 名程度) 退所後、直ぐに特養へのスライド入所へ移行できる体制を整える。
- ②特養へのスライド入所後にショートステイの空室が出ないよう、特養入所申込者をロングショートへの利用を勧め、ロングショート利用者の待機を確保する。
- ③長期入院者や入退院を繰り返す入居者様に対して、家族や病院へ早期退院又は状態に関する情報収集を行い、特養での対応が困難な場合はショートステイ等の利用又は一時退所も含め、早めの働きかけを行う。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
令和 3 年度収入実績	11, 921	12, 356	11, 802	12, 165	12, 066	11, 990	72, 300
令和 4 年度収入計画	11, 777	12, 169	11, 777	12, 169	12, 169	11, 777	71, 838
令和 3 年度支出実績	9, 439	8, 896	16, 784	8, 875	8, 821	9, 893	62, 708
令和 4 年度支出計画	8, 651	8, 651	14, 074	8, 651	8, 651	8, 651	57, 329
令和 3 年度収支差額	2, 482	3, 460	-4, 982	3, 290	3, 245	2, 097	9, 592
令和 4 年度収支差額計画	3, 126	3, 518	-2, 297	3, 518	3, 518	3, 126	14, 509
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
令和 3 年度収入実績	12, 182	11, 798	12, 312	12, 272	10, 936	12, 108	143, 908
令和 4 年度収入計画	12, 169	11, 777	12, 169	12, 169	10, 991	12, 169	143, 282
令和 3 年度支出実績	9, 210	9, 247	15, 650	9, 795	9, 795	9, 795	126, 200
令和 4 年度支出計画	8, 651	8, 651	14, 074	8, 651	8, 651	8, 651	114, 658
令和 3 年度収支差額	2, 972	2, 551	-3, 338	2, 477	1, 141	2, 313	17, 708
令和 4 年度収支差額計画	3, 518	3, 126	-1, 905	3, 518	2, 340	3, 518	28, 624
令和 3 年度と令和 4 年度計画の収入比率	-0. 5%						
令和 3 年度と令和 4 年度計画の支出比率	91%						
令和 3 年度と令和 4 年度計画の収支差額比率	162%						

収入・支出・収支差額についての管理者意見

令和 3 年度の収入において、目標数値 (稼働率 98. 5%) よりも 110 万円程度 (稼働率 98. 9%) 増収している。感染症対策として実施している、毎日の検温測定等で体調不良者を早期に発見することができた。重症化する前の段階で医師と連携し、内服加療で状態が改善するケースが多く、入院数の減少に繋がっている。令和 4 年度も令和 3 年度と同様の稼働率 (99%) を目指し、収入を維持していきたい。

支出においては光熱費 (水道、電気等)、介護用品 (手袋) が高騰しており、光熱費の節約、介護用品 (手袋等) の購入時期を考慮し、令和 4 年度は 10% 程度のコストを削減していきたい。コストを削減しつつ、補助金等を活用し、介護現場で必要な離床センサー付低床ベッドやリクライニング車いす等を購入し、入居者様が安心して生活することができ、職員が身体的、精神的に負担を軽減できる環境を整えていきたい。

令和 4 年度の収支差額において、健康観察 (毎日の検温測定) を継続して行い、現状の稼働率 (99%) を維持し、年間の支出を現状よりも 10% 程度削減し、令和 3 年度よりも増収を目指す。

以上

# 令和4年度魚崎高齢者介護支援センター（短期入所生活介護）

## 事業計画

令和4年度経営スローガン「足腰を鍛え、いつまでも元気に楽しく過ごそう」に基づき、感染防止対策を継続しつつ、身体を動かす機会を増やし、外出する機会を増やすように努める。手作業や脳トレ等の普段のレクリエーションの充実を図り、楽しい毎日を過ごして頂けるよう職員一同取り組んでいく。また、居室やフロア内の環境整備を常日頃から心がけ、気持ちのいい環境で過ごして頂き、改めて介助の基本に戻り利用者様一人一人にあった介助を行えるよう学ぶ意識を持てるような職場環境作りに努める。

### 1. 楽しく快適で安全な生活を提供

I. 感染予防を行いながら、「またサンライフのショートステイを利用したい」と思ってもらえるような、ご利用中の生活が楽しくなるような環境の提案。

(1) 朝のラジオ体操の他に、午前中と午後（11:00（担当早出）と16:00（担当遅出））YouTube等を活用し、身体を動かす時間を作る。

(2) ロングの方対象に気候の良い時の散歩や、フロア内の歩行訓練（10:30～11:30）の実施。（午後入浴担当の職員が午前中に実施）

(3) 脳トレや軽作業を充実させる為に、入浴担当者をレクリエーション担当とし、毎日最低でも1つは個別レクやレクリエーションを行う。（10:30～11:30（担当早出））

(4) リハビリ器具の購入の検討し積極的に取り入れる。SS利用者様・ロング利用者様共に、リハビリ器具を活用し身体を動かす機会を作る。

II. 利用者様一人一人と話をする時間を持つように意識する。業務に追われてしまい、基本的な利用者様とのコミュニケーションの時間が少なくなっている。業務削減を行い、その分、利用者様とのコミュニケーションの時間に変換する。

III. 居室・フロアの整理整頓。居室の布団を整える・靴を揃える・ダンスの中の整理といった事を担当職員が中心となって職員一人一人が心がけ習慣化する。

共有のものに関して次使う人が使いやすいように片づける、元あった場所に物を置く、といった基本的な事を意識的に行っていく。物品を丁寧に使用し大切にすることで破損や故障を予防する。

### 2. 災害や感染症対策に関わる体制整備

I. 感染症や災害が発生した場合であっても、利用者様に必要なサービスが継続して提供できるよう、職員配置の体制整備やガウンテクニック等の感染予防の研修を行う。（BCP作成中）

II. 災害や感染症に備え、感染予防物品やその他物品の担当者を決め、月に1回確認・点検を行う。

### 3. 安定した利用者確保

#### I. 日中利用者数目標

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度 実績見込み	509	515	513	531	528	504	555	572	594	596	535	565	6,517
令和4年度 目標	585	600	585	600	600	585	600	585	600	600	550	600	7,090

- ・ 令和4年度1月、2月、3月は利用者数見込み
- ・ 日中利用者数1日あたり、平均19.5名を目指す。

I. 引き続き安定した利用者数獲得の為、特養、ケアハウス等の待機者や他施設の入居を目指す方々も含めた施設生活希望者を積極的に受け入れ、情報収集を行う。

又、施設入居された際の利用者数減少も見据え、ロングショート枠を毎月10名確保し、希望があればなるべく短期間で受け入れが出来る体制を確立する。

II. 定期的に行われる担当者会議等に積極的に参加すると共に、事業所訪問等で他居宅事業所のケアマネージャーと関わりを持つ事で、ショートステイを利用してもらいやすい関係性を築いていく。

### 4. 収支計画

単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入実績	6,027	6,572	6,135	6,409	5,521	6,969	37,633
令和4年度収入計画	6,800	6,900	6,800	6,900	6,900	6,900	41,200
令和3年度支出実績	6,175	5,194	10,327	5,140	5,346	5,317	37,499
令和4年度支出計画	6,000	5,000	10,000	5,000	5,100	5,100	36,200
令和3年度収支差額	-148	1,378	-4,192	1,269	175	1,652	134
令和4年度収支差額計画	800	1,900	-3,200	1,900	1,800	1,800	5,000

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入実績	6,881	6,675	7,273	7,200	5,600	6,700	77,962
令和4年度収入計画	6,900	6,800	6,900	6,900	6,000	6,900	81,600
令和3年度支出実績	6,184	5,614	10,007	6,100	5,300	5,300	76,044
令和4年度支出計画	6,000	5,500	10,000	6,000	5,200	5,200	74,100
令和3年度収支差額	697	1,061	-2,734	1,100	300	1,400	1,918
令和4年度収支差額計画	900	1,300	-3,100	900	800	1,700	7,500
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							104%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							97%
令和3年度と令和4年度計画の収支差額比率							391%

令和3年度1月・2月・3月は見込み

前年度はコロナの影響もあり、売り上げ、利用者数ともに減少していたが、今年度はコロナ前

の収支差額に戻す。

## 5. 人員構成力の強化

### I. 職員がハラスメントについて理解し、意識できるよう研修を行う。

職場内でのハラスメントや、利用者様や家族様のハラスメントに対し、職員が我慢をせずにすぐに発信し問題解決がすぐにできるような、職場環境作り及び法人本部との連携システムを構築していく。

### II. 相談員・主任・リーダーの日頃からのコミュニケーション・情報共有の強化。問題を先送りせず、すぐに相談しその日のうちに解決できるよう常日頃から話し合いを行う。

### III. 介護の基本、疾患についてやその介助方法等について毎月一人が資料を作成し、「自ら学ぶ」習慣が身につくよう指導を行う。

### IV. 運転免許を所持している職員について、相談員、主任を中心に、運転研修を行い、緊急時の送迎可能職員確保へと繋げていく。

以上

# 特別養護老人ホームサンライフ魚崎特養・短期入所 医務

## 令和4年度事業計画書

今年度は「おいしい物を食べる」「きれいな所で清潔に生活する」「足腰頭を鍛えいつまでも元気に楽しく過ごす」をスローガンに3年目となるコロナ禍を乗り越える看護・介護を推し進めていきたい

### 1. 感染症を拡大させない

- I. 体調変化の報告、どんなに軽微であっても出勤せずにまず報告相談を徹底強化、継続していく
- II. 廃棄物の管理に関して最後まで気を緩めずに感染対応を遂行する意識付けを発信し続け、定期的に感染委員と共にチェックする
- III. コロナ以外の感染症についても柔軟な対策を流行に合わせて対応できるよう情報収集・発信に努める

### 2. 排便コントロールを見直す

- I. 大方の利用者様が緩下剤・下剤類を服用されているが、おいしく食事をとって頂くための一環として、定期的な排便を、できる限り自力で排泄できるよう内服薬の調整を嘱託医と相談連携をとりながら進めていきたい

### 3. 事故防止に努める

- I. 足爪の事故が続いており改善がみられない 爪切りを行った日にシグナルを入れ定期的に遡って確認ができるようにチェック表を作成した
- II. 靴下着脱の手技を不定期に介護職と確認し徹底していく
- III. 薬事故対応として、日曜日がNs1人勤務となる為、前日前々日に割り振って内服薬のダブルチェックを行うこととした

### 4. スタッフの休息について

- I. 1日1時間の休憩時間を確実に確保できるよう、申し送り時に介護スタッフとしっかりと業務スケジュールを確認して調整段取りできるように看護師個々に発信していく
- II. なかなか時間内に業務を終了させることができないスタッフに対して、午前、午後のタイムスケジュールを確認し、優先順位や効率を考えた動きができるよう指導する

以上

# 令和4年度魚崎高齢者介護支援センター（通所介護）

## 事業計画書

前年度は、新型コロナウイルスの影響や複数回数利用者の施設入所、新規獲得が上手くいかず、下半期は特に大幅な収入の落ち込みとなった。

令和4年度の経営スローガン「足腰を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう」をベースに、今年度のデイサービスは、「楽しく元気になるデイサービス」を目指して「体操」「活動」「楽しみ」「食事」の充実とコロナ感染対策を両立させ、利用者様、ケアマネージャー等との連携を密にし、安心して任せられると認識してもらえる存在になる事で、利用者人数増加を目指す。

### 1. 「楽しく元気になるデイサービス」を目指して

- I. 「体操」について、毎日同じ時間、午前はユーチューブ動画を活用した体操、午後は「サンライフ体操」を継続して行い、棒やチューブ等を使用した体操等も充実させ、足腰が弱らない様に元気になるべく頂く。また、同じ体操で飽きさせない様に、常にアンテナを張り、歌等も交えつつ、楽しく鍛えられる様に新しい物を取り入れていく。
- II. 「活動」について、創作活動を中心に、貼り絵や季節毎の飾り作り、カレンダー作り、月間デイ雑誌等に応募する作品を皆で作る等、デイサービスで目的や達成感を持って、過ごして頂ける様にそれらの数を増やし、提供していく。
- III. 「楽しみ」について、デイサービスで自らの趣味を生かして楽しんで頂く事や楽しみを見つけて頂ける様に、編み物や書道、囲碁、将棋、雑誌等の読み物を取りそろえる等、いつでも広く対応できる様に準備していく。同時に、それらの趣味や楽しみに特化したボランティアも募集し、より本格的に共に楽しんで頂く。
- IV. 「食事」について、ただ昼食を提供するのみではなく、楽しく元気を提供できる1つのサービスとして捉え、多くの人が大好きなお寿司やうな井等を提供する「お楽しみ食の日」やお魚とお肉料理を選んで頂く「選択食週間」等のイベント食の日を考え、演出し楽しんで頂く。
- V. 音楽療法やボランティアについて、新型コロナウイルス蔓延で、約2年に渡り中止していた音楽療法や音楽、踊り等の演目ボランティア、趣味や楽しみに特化した編み物や書道、将棋等のボランティア、整容やお茶出し等の家事業務支援ボランティアの再開を従来のナルクだけではなく、神戸シニアポイントボランティアや地域の方達の情報を集め、力を貸して頂く事で、提供できる楽しみ

を増やしていく。

- VI. 利用者及び利用者家族へ、年2回のアンケートを6・11月に実施。デイサービス運営の評価と共に、デイサービスに何を求めておられるのか、どのようなサービスを受けたいかを確認し、反映させていく。
- VII. デイサービスの課題や対策、意思統一を図る場として、毎月1回相談員・リーダー会議。奇数月に職員会議を開催する。
- VIII. 感染症や災害が発生した場合においても、デイサービス事業を止めず、継続して利用者に必要なサービスを提供する為の事業継続計画(BCP)の体制作りを行う。

## 2. 利用者様獲得計画

- I. 毎月1日は事業所への訪問を行い、利用者様の状況報告、空き情報やデイサービスの取り組み等のチラシ配布、説明を行い、新規利用者獲得へと繋げる。また、現利用者の追加利用に関して、すぐに対応するよう敏速に調整する。
- II. 普段交流のない事業所に対しても、1カ月に5事業所ずつ訪問し、空き情報やデイサービスの取り組み等のチラシ配布、説明を行い、新規交流事業所を増やしていく。
- III. 特養、ケアハウス、グループホーム入所に繋がられるように、ケアマネージャーへ事業所訪問の際に、入所系の近況報告も合わせて行う。入所希望されている利用者情報をいち早く相談員へ報告し、スムーズな入所に努める。
- IV. 各ケアマネージャーに対し、利用者様の変化だけではなく、どのように過ごしておられるか、日常のご様子を事細かくお伝えし、ご相談する事を増やす事で、連絡を密にし、ケアを進めていく。同時に、どのようなデイサービスを希望されているか、訪問の際に情報を収集し、いつでもご利用し、相談して頂ける様な関係性を構築する。

## 3. 感染防止対策

前年度に引き続き、コロナ感染を防止し、その他感染症の予防にも職員一人一人が意識して取り組む。

- I. 朝のお迎えの際、乗車前に検温し、37℃以上であれば、感染予防の観点からご利用を中止させて頂く。また、自宅でも日頃の検温や体調観察を行って頂き適宜、家族様に向けて感染症の注意喚起のお手紙を配布し、体調不良時にはご利用を控えて頂く事と、早めの受診を依頼する。
- II. 来園時のうがい・手洗い・消毒の徹底、1日4回のフロア内の消毒、送迎車内の換気・使用後の消毒を継続して行う。
- III. ご利用中に関してマスクを着用していただき、必要に応じてガーゼマスクの貸し出しを行い、消毒・洗浄を行う。

### 3. 人材育成・人材確保・資格取得

- I. 職員の無資格者に対して、必須となる認知症介護基礎研修への受講を行う。
- II. 介護福祉士・介護支援専門員の資格取得の為に、相談員、リーダーが困っている部分について、アドバイスをしていく。また、勉強しやすい環境を整える為に、出来る範囲内で勤務等も調整していく。
- III. 希望休や有休がとりやすくなるよう、少人数でも業務が行える環境・業務の改善を常日頃から意識し、削減できる所は削減し、一人一人のマンパワーを向上する。
- IV. 年1回ハラスメント研修や適時ハラスメント撲滅を発信していく事で、ハラスメントに対する理解を深め、職員1人1人が意識する事で、働きやすい職場を構築していく。

### 4. 設備機器の整備・点検、節約・節減への取り組み

- I. 節水・節電の意識づけの徹底。張り紙等による啓発。材料費や日用品に関する見直しを適宜行い、無駄がないか日頃から全職員が意識する。
- II. 障子の破れや電球、送迎車の点検等、相談員、リーダーを中心に、適宜確認し、補修していく。

### 5. その他

- I. 科学的介護システム「LIFE」の活用について、現在は各利用者様の情報を入力し、様々な症例を提供している段階ではあるが、「LIFE」の活用についての研修会等に積極的に参加し、感覚ではなく、データに基づいた介護が出来るようにしていく。
- II. 介護記録業務や見守りシステム、オンラインリハビリ等、ICT技術の情報を集め、積極的に導入を検討し、職員の介護負担軽減へと繋げる。
- III. 自然災害や大規模な感染拡大（新型コロナ等のような）の中でも事業が継続できるように、BCP（事業継続計画）を今から順次作成し、実際に起きた時にうまく対応できるように準備を開始する。
- IV. 職員間、もしくは利用者様へ、又は利用者様家族からのハラスメント防止について、研修を受け、いかなるハラスメントも起きにくいような体制にしていきたい。

### 6. 利用者目標人数と目標収支差額

令和4年度目標人数（単位：人） ※令和4年度2月、3月は見込み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R3年	650	651	663	671	640	634
月平均	25.0	25.0	25.5	24.9	24.6	24.3
R4年	663	676	676	702	742	728
月平均	25.5	26	26	27	27.5	28

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年	648	655	609	538	537	604	7,500
月平均	24.9	25.1	23.4	22.4	22.4	22.4	24.1
R4年	728	754	728	648	648	729	8,422
月平均	28	29	28	27	27	27	27.1

令和4年度目標収入 (単位：千円) ※令和3年度1月、2月、3月は見込み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入実績	5,955	5,808	6,440	6,201	5,865	5,774	36,043
令和4年度収入計画	6,100	6,220	6,220	6,469	6,670	6,440	38,119
令和3年度支出実績	5,169	4,742	7,456	4,620	4,634	4,589	31,210
令和4年度支出計画	4,889	4,462	7,176	4,340	4,354	4,309	29,510
令和3年度収支差額	786	1,066	-1,016	1,581	1,231	1,185	4,833
令和4年度収支差額計画	1,211	1,758	-956	2,129	2,316	2,131	8,589

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入実績	5,770	6,063	5,744	4,951	(4,951)	(5,700)	69,222
令和4年度収入計画	6,440	6,747	6,440	5,771	5,771	6,440	75,728
令和3年度支出実績	5,074	4,647	6,824	(5,070)	(5,070)	(5,200)	63,095
令和4年度支出計画	4,794	4,367	6,624	4,790	4,790	4,920	59,800
令和3年度収支差額	696	1,416	-1,080	-119	-119	500	6,127
令和4年度収支差額計画	1,646	2,380	-184	981	981	1,520	15,928
令和3年度と令和4年度計画の収入比率				109.5	%		
令和3年度と令和4年度計画の支出比率				94.8	%		
令和3年度と令和4年度計画の収支差額比率				144	%		

収入・支出・事業活動収支差額についての管理者意見

令和3年度は計画を下回り、特に下半期は約500万円の差が出た。令和4年度は約650万円の増収を目標とし、利用者獲得を行っていく。支出を前年度比94%に抑える。

以上

# 令和4年度フレール魚崎中町（認知症対応型共同生活介護）

## 事業計画書

「足腰頭を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう！」をスローガンに、感染対策強化に努め、引き続き体操・口腔体操・廊下歩行・散歩（日光浴）・日常生活動作・自立支援を強化してやりがいを作り、レクリエーションの充実を図り、楽しみながら身体を動かし、心身ともに健康の維持に努める。又、安心・安全・美味しい食事の提供に加え、新メニューや郷土料理・出前等を取り入れ、食の楽しみを増やす。全職員が認知症ケアの理解を深め、安心感を与えるケアの統一・対応に取り組んでいく。施設内美化意識・コスト意識を向上させ、施設内の清潔や整理整頓・無駄な光熱費の削減に注力する。

1. 感染対策強化と足腰頭を鍛えやりがい・楽しみ作りで心身共に健康を
  - I. 換気の徹底、入居者様のマスク着用・手洗い消毒の徹底に努めつつ、個々のできることに積極的に取り組み、家事への参加、日常生活動作、自立支援を継続する。
  - II. 面会・外出・行事等様々な制限による、入居者様のストレス・認知症の進行を緩和・予防する為、楽しみ・やりがい作りを全職員で積極的に取り組む。日光浴・散歩・廊下歩行・体操を毎日の日課とし、気分転換と共に適度に体を動かす。  
(体操と廊下歩行は午前と午後の2回実施。口腔体操は昼食前と夕食前に実施。)
  - III. 便秘体操・サルコペニア予防体操を実施。体操DVDを作成する。
  - IV. 運動レク・脳トレレクが偏らないよう、職員個々の得意を活かし、レクリエーションの担当を決め、内容のバリエーションを増やし充実化を図る。担当者が中心となり、準備や提案をおこなう。タブレットを活用しレクリエーションを充実化。
  - V. 感染委員を中心に、コロナウイルス発生時の研修を3か月に1回実施する。
  - VI. 感染症や災害が発生した場合であっても、入居様に必要なサービスが継続して提供できるよう、体制作りをおこなう。又、災害や感染症に備え、感染予防物品は感染委員が、非常食は管理者が、確保、確認・点検を行う。
  - VII. 面会制限長期化による家族様の不安・不満緩和の為、引き続きweb面会、毎月の手紙での写真掲載を継続し、様子をお伝えし家族様との信頼関係を築く。
  - VIII. コロナ禍による物品の高騰、感染対策による光熱費の大幅な増加に伴い、支出が増えている為、一人ひとりのコスト削減の意識を高める。管理者・リーダーを中心に、無駄をなくすよう常に啓発する。無駄な出費を無くし、レク物品やリハビリ物品（チューブやペダル等）を購入する。

- IX. 外食や遠足が中止となっている為、安心・安全・美味しい食事の提供に加え、新メニューや郷土料理・出前等を取り入れ、食の楽しみを増やす。(R4 年より食費が定額負担となった為、食材料費と質のバランス維持・向上にも努める。)

## 2. 認知症ケアの統一に向けて

- I. 接し方・対応の仕方が認知症ケアで最も大切であることを全職員が認識し、常に安心感を与える対応を徹底し、認知症ケアのプロ集団となる。
- II. 3か月に1回(5月8月11月・2月)の職員会議で認知症研修を実施し、認識・ケアの統一を行う。
- III. 個々の出来ること・楽しみに目を向け、全員で取り組む。
- IV. 申し送り時フロア会議をおこない個々のニーズに向き合い、話し合いの場を作り、皆で統一した視点で統一した対応を実施。
- V. 無資格者における「認知症介護基礎研修」の受講を実施していく。

## 3. 人材育成

- I. 正職員会議を(4月9月1月)実施し正職員の意欲の向上・スキルアップを行う。
- II. 申し送り時フロア会議をおこない個々のニーズに向き合い、話し合いの場を作り、個々の意見を聞き意欲をひきだす。
- III. 職員がハラスメントについて理解し、意識できるよう研修をおこない、働きやすい職場を構築する。
- IV. 緊急時送迎の運転者育成・確保の為、運転免許を所持の職員の運転練習を行う。
- V. 介護支援専門員・介護福祉士・実務者研修等資格取得を推進する。

## 4. 経営定化への取り組み

- I. 管理者・リーダーの現場業務以外の時間を作り、入居候補者の確保業務を行い、定期的に入退居判定会議を実施。退居時早期入居できるよう取り組む。
- II. グループホームの早期入居を希望される方を中心に、ショートステイと連携し、ロングショートの利用へ繋げる事で待機者の確保を行う。
- III. デイ・居宅等の他部署にグループホームの状況を伝え、入居希望者の情報を得る。  
デイ管理者に、毎月の居宅訪問時にグループホームの入居案内を持参し配布頂く。
- IV. 介護度が重度化すると職員の負担も過多となり、ケアも行き届きにくくなる為、適時転居検討をしていく。ADL 低下時介護認定の変更申請も速やかにおこなう。
- V. 体調管理、事故予防に努め、極力入院としないようサポートに努める。  
又、入院時、早期退院に向けてのアプローチをし、受け入れ態勢を整える
- VI. 加算項目…①初期加算 ②入院時費用 ③認知症ケア加算(I) ④サービス提供体制強化加算(I)ロ ⑤介護職員処遇改善加算(I)

## 5. その他

- I. 腰痛予防の為毎日体操実施。無理のない介助方法を会議で話し合いし実践。
- II. 気持ちのゆとりを持って働けるよう、メンタルヘルスの講師への相談や人員調整・業務調整にて職員の心身の健康管理に努める。
- III. 職員の心身のリフレッシュの為3日以上連続休暇をとる。生活支援休暇も活用。
- IV. 目の行き届きにくい場所や汚れやすい場所等をリスト化し、定期的に清掃・整理を行う事で施設内の美化に努める。
- V. 災害や大規模な感染拡大（新型コロナ等）が起きても、何とか事業を継続できるようにBCP（事業継続計画）を今期から作成し、対応できる体制を構築していく。
- VI. 職員間、職員から利用者様へ、利用者様家族から職員へのハラスメント防止に努めるべく研修を受講し、ハラスメントが起きないような体制構築を図る。
- VII. 光熱水費や介護・事務消耗品の削減について資源を大切に無駄がないよう、全職員の意識統一を図る。

## 6. 年間稼働率

(単位%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R3年度実績	94	93	99	100	98	95	96	100	100	97	96	
R4年度目標	100	100	100	100	100	100	100	100	98	98	98	100

## 7. 年間活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点目標	接遇強化 散歩日光浴強化	接遇強化 散歩日光浴強化	接遇強化 食中毒予防	接遇強化 食中毒予防	事故防止 熱中症予防	事故防止 熱中症予防
研修・会議	感染症研修 正職員会議	GH会議 認知症研修 身体的拘束適正化会議	身体的拘束適正化研修	感染症研修 身体的拘束適正化会議	GH会議 認知症研修	正職員会議 身体的拘束適正化会議
待機者確保	入居判定会議	待機者情報収集	入居判定会議	待機者情報収集	入居判定会議	待機者情報収集
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点目標	接遇強化 散歩日光浴強化	感染症予防 散歩日光浴強化	感染症予防	感染症予防 接遇強化	事故防止	接遇強化
研修・会議	感染症研修	GH会議 認知症研修 身体的拘束適正化会議	身体的拘束適正化研修 感染症研修	身体的拘束適正化会議 正職員会議	GH会議 認知症研修	身体的拘束適正化会議
待機者確保	入居判定会議	待機者情報収集	入居判定会議	待機者情報収集	入居判定会議	待機者情報収集

## 8. 令和4年度収支計画

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入実績	4,807	5,194	5,196	5,313	5,432	5,008	30,950
令和4年度収入計画	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	32,400
令和3年度支出実績	5,348	4,982	8,319	4,935	5,292	4,693	33,569
令和4年度支出計画	4,900	4,900	7,500	4,900	5,000	5,000	32,200
令和3年度収支差額	300	194	-3,123	378	140	315	-2,619
令和4年度収支差額計画	500	500	-2,100	500	400	400	200

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入実績	5,309	5,232	5,737	5,510	5,510	5,700	63,948
令和4年度収入計画	5,400	5,400	5,300	5,300	5,300	5,400	64,500
令和3年度支出実績	5,159	4,808	8,271	5,300	5,000	5,000	67,107
令和4年度支出計画	4,900	4,900	7,700	5,000	4,900	4,900	64,500
令和3年度収支差額	150	424	-2,534	210	510	700	-3,159
令和4年度収支差額計画	500	500	-2,400	300	400	500	0
令和3年度と令和4年度計画の収入比率	100.8%						
令和3年度と令和4年度計画の支出比率	96%						
令和3年度と令和4年度計画の収支差額比率	%						
収入・支出・事業活動収支差額についての管理者意見							
<p>①感染防止の徹底②毎日の運動と自立支援により下肢筋力の維持向上に努め転倒事故予防③病            気早期発見、で入院を防ぎ空室削減を図る。また早期退院のアプローチをおこなう。常に待機者を            確保し退居が出たら速やかな入居に努める。R4年より食費が定額負担となった為、食事の質は            落とさず食材料費のコスト削減に努める。</p> <p>職員一人一人のコスト意識を向上させ、無駄をなくす事で光熱費の削減に努める。</p>							

# 令和4年度 介護型ケアハウス サンライフ魚崎

## 事業計画書

「足腰頭を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう！」をスローガンに感染対策には十分留意しつつ、ストップしていた音楽療法や近隣への散歩・他フロアとの交流を段階的に再開し、入居者様の楽しみや体力の向上に努めていきたい。昨年度よりさらに入居者様及び家族様とのコミュニケーションを効果的に図り、信頼関係の強化・生活の充実・職員の気づきに繋げていく。施設内美化意識・コスト意識を向上させ、施設内の清潔や整理整頓・無駄な光熱費の削減にも注力したい。

### 1. 入居者様の健康と生きがいつくりの推進

- I. ケアハウス4階や近隣への散歩・全身曲げ伸ばし運動行う体操クラブ等の運動する機会を毎週火曜日の14時から1時間程度、遅出職員が実施する事で入居者様の足腰・体力の強化を図る。
- II. 運動担当の職員を日常の業務として割り振り、歩行可能を中心に最低週3回、午前中にフロアを歩行して頂けるようにする。歩行が難しい方においては立位訓練や屈伸運動を行う。
- III. 可能な方は朝食後を中心に計算問題や塗り絵を提供し、手指や頭の運動を行う。
- IV. 日常生活において介助等を行った後に簡単な屈伸・足踏み運動、発声練習を行う等、介助だけで完結させず、細かい時間を有効活用する
- V. 入居者様と職員が共に簡単なおやつ作りをするレクリエーションを2週間に1回、木曜日の14時からできるようにし、入居者様の楽しみに繋げる。
- VI. 感染症の流行状況に留意しつつ、ボランティア等の外部の方の受け入れを段階的にを行い、入居者様が楽しみを持てるようにする。

### 2. 入居者様確保・感染防止

- I. 毎月、相談員がデイ管理者と共に居宅事業所訪問を行い、ケアハウスの情報提供を行う。また3か月に1度、病院や老健を中心に案内を送付する。
- II. サンライフ住吉川・グループホームサンライフさくら魚崎北町と連絡を取り、空き状況・待機者・今後の見通し等の情報交換を行い、状況に応じて相互に入居希望者の紹介を行う。
- III. 円滑な入居に繋げるため、申し込みされた方の早期面接・健康診断の依頼を行う。面接については出来る限り看護師と共に行う。
- IV. ケアハウスへの早期入居を希望されるにおいて、状況を見ながらショートステイと連携し、ロングショートの利用へ繋げ、待機者の確保を行う。

- V. 問い合わせや見学時の説明においては他施設との違いやケアハウスの特徴を丁寧にわかりやすく説明する。普段から挨拶・整理を心がけ、見学時には明るい雰囲気を感じて頂けるようにする。
- VI. 入院においては病院・家族様と定期的に連絡を取り、可能な限り早期退院に努める。
- VII. 標準的な感染対策（手洗い・うがい・換気・消毒）を継続徹底し、感染防止に努める。また感染症発生時のマニュアルや入居者様情報の更新を適宜行う。
- VIII. 大規模な感染症（新型コロナ等）や大災害が発生した場合でも、継続して入居者様に必要なサービスが提供できるようBCP（事業継続計画）を作成開始していく。

### 3. 人材育成・業務改善

- I. 昨年度に引き続き介護福祉士受験予定者及び介護支援専門員受験予定者が全員合格できるよう、対策講座の受講や相談員を中心に進捗状況の確認・勉強方法の助言・指導を行う。
- II. 緊急時送迎運転者確保の為、運転免許を所持している職員を1～2名選別し、月に1回程度、相談員を中心に運転の訓練を行う。
- III. 必要な職員において相談員・リーダーが毎月面談を行う。悩み等の聞き取り、課題の共有や達成度の確認を行う。
- IV. 外部研修について状況に応じて少しずつ活性化させていきたい。事前にどんな研修を受けたいか聞き取りを行い、能力や希望を考慮し効果的に研修参加できるようにする。
- V. 家族様来所時や電話があった際は明るく挨拶・話す事に努め、入居者様の日頃のご様子だけでなく明るいエピソードも交えて話ができるようにする。
- VI. 有給休暇が年間5日以上、取得できるよう調整を行うと共に全職員が公平に休暇を取りリフレッシュできるようにしていく。
- VII. 引き続き科学的介護推進体制加算、退院・退所時連携加算、若年性認知症入居者受入加算、口腔衛生管理体制加算を継続する。サービス提供体制強化加算については(II)が算定できるか検討する。
- VIII. 昨年度に引き続き、労働環境改善支援事業の申請を行い、離床センサー内蔵ベッドを今年度も5台程度購入検討し、職員の負担軽減を図る。
- IX. 昨年度実施できなかった職員会議及びフロア会議においては状況を見ながら、3か月に1度程度で行えるよう調整する。

### 4. その他

- I. 目の行き届きにくい場所や汚れやすい場所等をリスト化し、定期的に清掃・整理を行う事で施設内の美化に努める。
- II. 照明・空調・入浴について使用方法や使用時間の標準化を行い、電気・ガス・水道の無駄を削減する。
- III. 毎月のリーダー会議にてハラスメント（職員間、職員から入居者様、家族から職員へ）の有無の確認及び年1回はハラスメントの研修を行う事で、職員がより安心して働けるようにする。
- IV. LIFEに関する情報収集及びデータ入力・フィードバックの確認を毎月相談員が行う。

フィードバックについて必要な情報は介護職員と共有する。

## 5. 年間稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和3年度 (実績)	96.2	96.2	98.3	95.8	97.5	99.6	100	99.7	98.0	98.1	(99.0)	(98.0)	98.0
令和4年度 (目標)	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5

## 6. 収支計画

令和4年度収支計画

(単位千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入実績	18,898	19,696	18,847	19,726	20,845	19,320	117,332
令和4年度収入計画	19,000	19,750	19,000	19,750	21,000	19,500	118,000
令和3年度支出実績	15,950	13,973	26,112	13,465	13,622	12,885	96,007
令和4年度支出計画	15,700	13,900	26,000	13,400	13,500	12,800	95,300
令和3年度収支差額	2,948	5,723	-7,265	6,261	7,223	6,435	21,325
令和4年度収支差額計画	3,300	5,850	-7,000	6,350	7,345	6,520	22,365

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入実績	20,186	19,857	20,526	(20,750)	(18,750)	(19,750)	237,151
令和4年度収入計画	20,200	20,000	20,750	20,750	19,000	19,750	238,450
令和3年度支出実績	15,101	12,666	24,635	(15,300)	(14,500)	(15,000)	193,209
令和4年度支出計画	15,000	12,600	24,500	15,300	14,250	14,800	191,750
令和3年度収支差額	5,085	7,191	-4,109	5,450	4,250	4,750	43,942
令和4年度収支差額計画	5,200	7,400	-3,750	5,450	4,500	4,950	46,700
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							100.5%
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							99.2%
令和3年度と令和4年度計画の収支差額比率							106%

収入・支出・事業活動収支差額についての管理者意見

運動する機会や楽しみを増やす事で入居者様の健康増進を図り、入院することなく元気に過ごす事ができるようにする。SS（短期入所）やグループ施設と協力し、待機者を増やし円滑に入居ができるよう調整を行う、また早期退院の工夫をする事で空床日数を削減する。職員一人一人のコスト意識を向上させ、無駄をなくする事で光熱費の削減に努める。

## 7. 年間活動計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点目標	感染症予防	腰痛予防	事故防止	腰痛予防	熱中症予防	接遇強化
研修・会議	相談員・リーダー会議					
			職員会議 フロア会議			職員会議 フロア会議
利用者確保	事業所訪問	事業所訪問	事業所訪問 案内配布	事業所訪問	事業所訪問	事業所訪問 案内配布
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点目標	腰痛予防	事故防止	感染症予防	感染症予防	感染症予防	接遇強化
研修・会議	相談員・リーダー会議					
			職員会議 フロア会議			職員会議 フロア会議
利用者確保	事業所訪問	事業所訪問	事業所訪問 案内配布	事業所訪問	事業所訪問	事業所訪問 案内配布

以上

## R4年度 介護型ケアハウス サンライフ魚崎医務室

### 事業計画書

<スローガン> 「足腰頭を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう！」

#### <方針>

##### 1. 入居者様の健康管理

- 1) 入居希望者様との面接に同席し、生活上の医療的な問題の把握に努める。
- 2) 入居者様の体調確認を行い、受診の必要がある場合は速やかに医療機関へつなぐ。日頃より異常の早期発見、早期治療に努め、なるべく入院日数を減らす。
- 3) 毎月医療連携報告書を主治医へ提出し、医師と看護師の情報共有を行う。
- 4) 褥瘡ゼロへの取り組みを行う。栄養管理、除圧の工夫、排泄ケアと清潔維持に職員全員で取り組む。必要時皮膚科往診を依頼し必要な処置を行う。
- 5) 転倒リスクのアセスメントを行い、下肢筋力低下予防のためのリハビリメニューの検討と実施、センサーマット・見守りカメラの活用により、職員全員で転倒予防に努める。

##### 2. 看取りの対応

- 1) 入居時に、危篤時の対応についてあらかじめご家族様へ意思を確認しておく。
- 2) ご家族様や医師への状態報告を密に行い、状態をみて適切な時期に看取り同意書の説明と同意を得る。
- 3) 出来る範囲内の医療行為を行い、最期まで安楽に過ごせる為の支援を行う。

##### 3. 感染対策

- 1) 日頃より入居者様の状態をしっかりと観察し異常の早期発見に努める。
- 2) 手洗い、うがい、マスク着用を徹底し感染経路の遮断を行う。
- 3) 感染予防について感染対策委員と協力し職員への啓蒙、研修を行う。
- 4) 感染者が出た場合は感染を拡大させないように、マニュアルに沿って対応する。
- 5) 年休、生活支援休暇を計画的に取得し、看護職員自身の体調管理に努める。

以上

# 令和4年度 サンライフ魚崎（厨房）

## 事業計画書

今年度、ささゆり会の経営スローガンである「足腰頭と鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう！」を実現するため、継続して厨房職員の人材育成・職場環境改善を重点に置き、安心・安全・美しく・美味しい食事提供を目指す。また、今後の人材不足・食材料費高騰に向けた対策の検討を行う。

### 1. 個々に応じた人材育成・ハラスメント予防に対する周知

- I. 昨年度末、温冷配膳車更新に伴い大幅な業務改定を行った。今年度は改定された業務を覚えながら、基礎的な給食業務・衛生面の知識等の再確認の徹底を行う。個々の知識や能力の差が見受けられるが、コミュニケーションや情報共有を行い、個々の意向に沿いながら、かつ、その人の“出来る事”をのぼし、新しい業務の取得を目指す。また、温冷配膳車更新に伴い、嗅覚・味覚だけでなく、視覚でも喜んで頂けるようお盆も新調した。従来のお盆と比較し、見た目良く、料理が映える一方、重く・脆く・変形しやすくなり、洗浄方法や取扱方法が負担となった。随時、より良い方法を模索しながら、業務の効率化を行う。
- II. 昨年度からデイサービスの利用者様確保を目指し、特別食の提供を開始した。施設の魅力の一つである直営の食事を推進する為、多職種連携を取りながら、厨房として可能な限りニーズに沿った食事の提供を行う。また、食材料費の高騰が継続している為、随時、許容範囲の検討も行う。
- III. 厨房職員の高齢化や個々の技量差が大きく、業務内容の簡素化を視野に入れ、“直営厨房の良さ”を失う事の無い程度に、新調理システム導入の有無の検討も行う。
- IV. 管理者及び職員がハラスメントについて理解し、意識できるよう研修を行い、働きやすい職場環境を構築する。

### 2. 厨房設備機器・物品の更新・改修の検討

- I. 今後、人材不足や経年劣化による設備増加が懸念される。随時、必要に応じて本部長代・施設長・事務長・管理栄養士で厨房設備の更新・改修の検討を行う。
  - ① 食器乾燥機の更新（劣化）
  - ② 各冷蔵庫・冷凍冷蔵庫の更新・改修（劣化・カビ発生）
  - ③ 回転釜の更新、又は、レンタル給水機の導入（劣化）
  - ④ 異臭・害虫（コバエ等）の原因となる排水側溝の改修（異臭・異物）
  - ⑤ 業務用レンジの更新（故障）
- II. 食器や器具等の老朽化・数量不足が見受けられる。視覚からの楽しみを得て頂くためにも、更新が必要である。随時、施設長と検討を行う。

- ① 利用者様食器の更新（劣化）
- ② 利用者様スプーン・箸の追加購入（不足）
- ③ 職員用炊飯ジャー・スープジャーの更新（破損）

### 3. 食材価格高騰に対する対策

天災やコロナ禍の影響により、大幅な食材価格の高騰が続いている。今年度も継続して、主仕入先2社を比較し、随時、取り扱い食材の変更を行う。一方、利用者様確保のため行っている特別食は大幅なコスト増加が見込まれる。今年度はコスト削減が厳しいと予想されるが、近隣業者に変更前の令和元年度食材料費 36,000,000 円を超えないよう、随時、本部長代・施設長・主仕入先業者と検討を行う。

### 4. BCPサイクルの取り組み

職員がBCP（事業継続計画）の流れを周知し、大規模な感染症や天災が発生した場合であっても、利用者様に必要なサービスが継続して提供できるような体制作りについて検討を開始する。

以上

# 令和4年度 サンライフ魚崎居宅介護支援事業所

## 事業計画書

今年度の法人経営スローガン「足・腰・頭を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう」に沿ってケアマネジメントを行い、赤字をできるだけ単年度では解消するよう進めていきます。現在、正社員ケアマネ3名＋非常勤認定調査員1名で頑張ります。

### I. 感染症や災害への対応力強化

感染症や災害の発生した場合であっても、日頃から地域にある事業所と情報交換することにより、利用者に必要なサービスを継続的に提供できるようにする。ケアマネロッカーに災害時、持ち出し名簿を作成し、災害時の安否確認が出来るようにします。

### II. 令和3年4月改定の介護保険報酬にのっとり、適正なケアマネジメントを行います

- ① 生活援助の訪問回数の多い利用者等のケアプランの検証を行っていきます。
- ② 退院・退所時カンファレンスにおける福祉用具専門相談員等を必要に応じ、参画することを明確にします。  
利用者退院時、医療機関でのカンファレンスに参加し、安心してご自宅での生活ができるよう居宅サービス計画・支援を行っていきます。(退院・退所加算 (I) イ)
- ③ 看取り期でのサービス利用前の相談、モニタリングの評価を行い、本人の意思を尊重した支援に結び付ける。(ターミナルケアマネジメント加算)
- ④ 医師の診察時に同席し、必要な情報提供を行うとともに、医師から利用者に関する必要な情報提供を受け、ケアプランに反映させます。(通院時情報連携加算)

### III. 研修・その他

- ① コロナ感染症により、研修がしにくい状況ではあるが、大事な研修等は ZOOM により行っていく。
- ② 令和3年度に神戸市からケアプランチェックを受けました。それに基づいて、アセスメントシートなど再度見直していきます。
- ③ 高齢者虐待、ハラスメント、困難事例等、人権尊重に基づいたケアマネジメントについて地域包括支援センターと連携をはかり、早めに対応していきます。
- ④ 併設事業所のデイサービス職員とより良いサービスを提供するにはどうすればよいかを議題とし、定期的に会議を開催します。

○ 収入（居宅介護支援費・介護予防支援業務委託料・認定調査委託料）（単位：千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入実績	1,238	1,213	1,287	1,215	1,320	1,154	7,427
令和4年度収入計画	1,400	1,400	1,400	1,450	1,450	1,450	8,550
令和3年度支出実績	1,442	1,074	2,492	991	1,408	1,351	8,758
令和4年度支出計画	1,160	1,160	2,500	1,160	1,160	1,160	8,300
令和3年度収支差額	-204	139	-1,205	224	-88	-197	-1,331
令和4年度収支差額計画	240	240	-1,100	290	290	290	250
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入実績	1,533	1,461	1,642	1,400	1,400	1,400	16,263
令和4年度収入計画	1,450	1,450	1,450	1,500	1,500	1,500	17,400
令和3年度支出実績	1,542	1,159	2,324	1,160	1,160	1,160	17,263
令和4年度支出計画	1,160	1,160	2,500	1,160	1,160	1,160	16,600
令和3年度収支差額	-9	302	-682	240	240	240	-1,000
令和4年度収支差額計画	290	290	-1,050	340	340	340	800
令和3年度と令和4年度計画の収入比率							107 %
令和3年度と令和4年度計画の支出比率							94 %
令和3年度と令和4年度計画の収支差額比率							%

収入・支出・事業活動収支差額に関する管理者の意見

- ・ 令和3年度実績をみると、収支差額は上期-133万円となっているが、年度末差額は-100万と減っている。（下期は赤字なし）
- ・ 令和4年度は、現在のケアマネメンバーで単年度黒字を目標にしています。

以上

# 令和4年度魚崎北部あんしんすこやかセンター

## (地域包括支援センター)

### 事業計画書

経営スローガン「足腰頭を鍛えて、いつまでも元気に楽しく過ごそう！」

サブ「全職員が専門力向上し感染防止し楽しい生活を提供する！！」

昨年度「お魚の会」兼「地域ケア会議」を通し、地域の困り事であるゴミ出しについて寸劇し、地域の人や医療関係者や事業所の方と一緒に考えた。今年度は、甲南商店街にあいさつ回りをして連携関係を築き、認知症や高齢者の問題行動で地域商店の困りごとについて、どう連携対応したら良いか地域ケア会議を開催して考えたい。また北青木地域の広報場所を増やし、体操や出張相談会を開催したい。

相談、フレイル予防支援、認知症施策、ひきこもり・8050 関連施策との連動、こども若者ケアラー、包括的連携、虐待、困難事例、成年後見、ケアマネ支援、見守り、緊急対応、地域診断、つどい場の後方支援、地域ケア会議、イベント企画等多様な対応を求められるが、常にセンター内で情報共有し、コロナ感染防止策を検討し、職員一同で助け合ってコロナ禍を乗り切る。

企画イベント回数、記録の短縮、業務の簡素化や効率化を図り、定時退社する。体操や研修で、足腰頭を鍛えて、職員の健康維持増進を目指す。

2022 年度も「迅速にかつ素早く対応できるチームワークの良い明るいセンター」をスローガンとする。

#### 1. 高齢者への虐待防止、消費者被害防止、成年後見制度の活用等の権利擁護支援

事業所連絡会で、事業所、主にケアマネジャー向けに成年後見制度だけでなく、それに関わる周辺制度も含めてリサーチし、インフォメーションする。

つどい場・介護リフレッシュ教室・給食会・相談対応高齢者・地域の掲示板や配布等で消費者被害注意喚起・高齢者虐待予防の広報をする。

#### 2. 認知症サポートネット「お魚の会」の更なる推進

(令和3年度は神戸市からの委託料なし。認知症高齢者声掛け訓練開催経費1万円)

11年目を迎える「お魚の会」は「地域ケア会議」を兼ねて令和4年度も年2回開催予定。

第1回目7月 認知症や高齢者の問題行動で地域商店の困りごとについて、どう対応したらよいか地域で考える。

第2回目10月 甲南商店街で、認知症高齢者の声掛け訓練を行う。

**健康寿命延伸の推進に関する業務**（令和3年度神戸市から85万円の委託料あり）

介護予防普及啓発事業「元氣いきいき講座」をR4年度は、年1回開催予定。

第1回目6月 フレイル予防（甲南地域で開催）

北青木、魚崎北町の高齢化率の高い地域の公園でラジオ体操の定期的開催を模索する。

**3. コロナ感染症の影響は大きく、会議等なかなか集まらない状況だが、WEB研修にて地域包括ケアシステム構築の為、地域ケア会議等を開催していく。**

（令和3年度神戸市から50,000円開催経費あり。）

・地域包括ケアシステム構築の為、地域ケア会議を開催していく

第1回目7月 「認知症や高齢者の地域商店の困りごと検討」お魚の会合同開催

第2回目10月 甲南商店街で、認知症高齢者の声掛け訓練。お魚の会合同開催

第3回目1月 事例検討会開催

・**地域別連絡会（ケアマネ支援）WEB研修を中心に**

・「東灘区あんしんすこやかセンター」と「医療介護サポートセンター」合同にて、センター主催、ケアマネ支援研修会を年4回開催する。

第1回目6月 医療と介護の連携について

第2回目8月 口腔内研修

第3回目12月 困難事例検討会

第4回目2月 障害者サービスと介護保険適用に関する情報交換会

・地域内の事業所やケアマネのレベルアップと連携を図る目的で事業者連絡会開催。

第1回目8月 身体障害制度について

**4. コロナ感染症の影響は大きく、外出の機会が減り、フレイルの進行が懸念される独居高齢者世帯や老々世帯などが、地域に出掛けられるように支える。また、つどい場がコロナ感染症対応で再開できていないグループもあり、室外活動の実施など工夫しながら再開できるように支援していく。**

・**介護リフレッシュ教室の開催※神戸市より年間最高18万円委託料あり。**

介護者を対象にした介護リフレッシュ教室（最低必要回数である年4回開催予定）

第1回目4月 音楽鑑賞

第2回目6月 地域散策＋喫茶

第3回目11月 フラワーアレンジメント

第4回目2月 体操講座

・地域活動の見守りと支援の継続

○「魚崎つどいばめぐり」実行委員会を中心に住民主体で運営できるように魚崎南部あんしんすこやかセンターと共同し支援を行う。

○ふれあい喫茶は当法人主催での取り組みであるが、コロナ感染症状況を確認しながら、再開の工夫や規模縮小など考えて、今後も再開の検討を行う。

## 5. 令和4年度 収支計画

・令和4年度 収支計画（神戸市からの委託料及び介護予防費含む）

※5月8月12月 神戸市の委託料収入あり (単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
令和3年度収入実績	659	9251	668	671	8634	762	20645
令和4年度収入計画	730	9320	735	735	8690	740	20950
令和3年度支出実績	2150	2040	4022	2023	2049	2000	14284
令和4年度支出計画	2050	2050	3900	2050	2050	2050	14150
令和3年度収支差額	-1491	7211	-3354	-1352	6585	-1238	6361
令和4年度収支差額計画	-1320	7272	-3165	-1310	6640	-1310	6807

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度収入実績	735	724	7953	683	685	685	32110
令和4年度収入計画	745	745	7980	750	750	750	32670
令和3年度支出実績	2101	2057	3736	2050	2050	2050	28328
令和4年度支出計画	2050	2050	3700	2050	2050	2050	28100
令和3年度収支差額	-1366	-1333	4217	-1367	-1365	-1365	3782
令和4年度収支差額計画	-1305	-1305	4280	-1300	-1290	-1290	4577
令和3年度と令和4年度計画の収入比率				101 %			
令和3年度と令和4年度計画の支出比率				99 %			
令和3年度と令和4年度計画の収支差額比率				121 %			
購入等の支出を必要最小限にとどめ、今年度も収入1%UPを目指す。							